

# 市町村別の調査結果

## 各グラフについての説明

### 1 総合評価(段階別)グラフ

※ 総合評価は、実技項目(8項目)の記録を、1点から10点に得点化し、その8項目の合計点をA, B, C, D, Eの段階に区分したものです。

○ 小学校 A:65以上 B:58~64 C:50~57 D:42~49 E:41以下

○ 中学校 A:57以上 B:47~56 C:37~46 D:27~36 E:26以下

※ グラフの横軸は、曜日を示す

※ グラフの縦軸は、総合評価規準の児童生徒の割合(%)を示しています。

### 2 運動実施時間(段階別)グラフ

※ 運動実施時間は、学校の体育の授業(保健体育)の授業以外で運動(体を動かす遊びを含む※注)やスポーツをした時間です。

※ 注 (体を動かす遊びを含む)の文言は、平成26年度の質問から追加されたものです。

※ グラフの横軸は、曜日を示しています。

※ グラフの縦軸は、それぞれの運動時間(分)を示しています。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

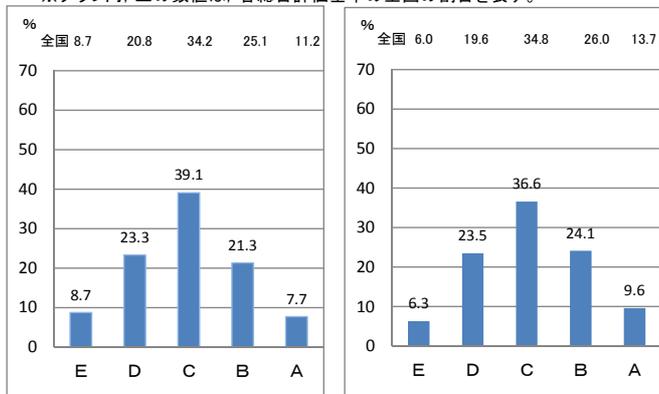
鹿児島市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

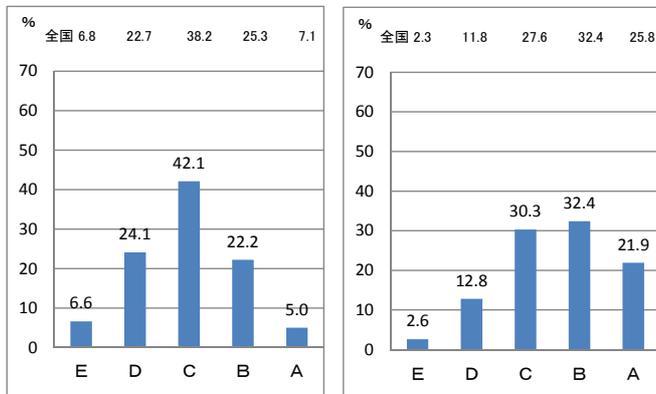
### 〈課題〉

- ・男女共に、A+Bの割合が全国平均より低く、D+Eの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。
- ・男子は、D+Eの割合が32.0パーセントあり、「D、E」の子供の体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・A+Bの割合が、全国平均より男子は低く、女子はやや低くなっている。また、D+Eの割合は、男女共に全国平均とほぼ同じであるが、上位層の引き上げとともに下位層の底上げは必要である。
- ・男子は、D+Eの割合が30.7パーセントあり、「D、E」の子供の体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

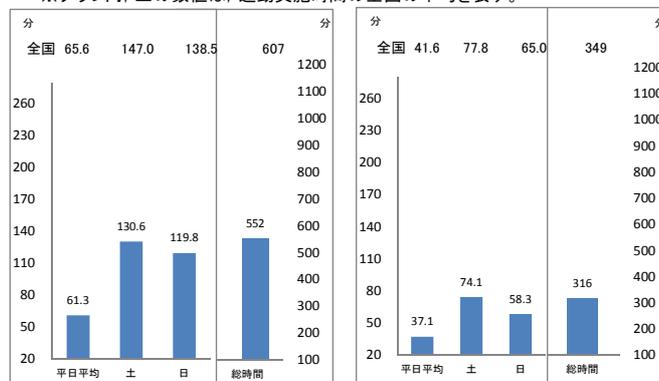
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・平日の運動実施時間は、男女共に全国平均と比較して短い。
- ・土曜日、日曜日の運動実施時間は、男女共に全国平均と比較して短く、特に男子において運動実施時間の差が大きい。
- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較して、男子は短く、女子はわずかに短い。

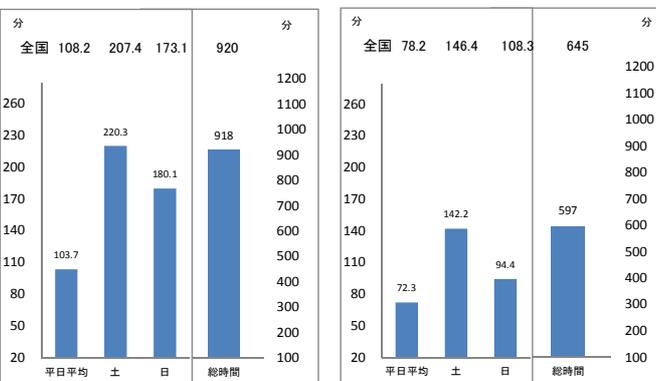
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・平日の運動実施時間は、全国平均と比較して、男子はやや短く、女子は短い。
- ・土曜日・日曜日の運動実施時間は、全国平均と比較して、男子は長く、女子は土曜日やや短く、日曜日は短い。
- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較して、男子はほとんど差はないが、女子は短い。

## 【改善策】

- ・体育の授業では、明確な「めあて」の設定と「振り返り」の活動を取り入れ、「分かる・できる・継続する」という観点も含め、魅力ある授業づくりに努め、運動好きな子供を育成する。
- ・児童生徒一人一人の課題を明確にした「個人カルテ」の作成と積極的な活用を通して、児童生徒が主体的・継続的に運動実践できるように働きかけと見届けを行っていく。
- ・家庭では、土曜日や日曜日に戸外等での遊びや親子等での運動への取組を啓発していく。
- ・全校に「ちよトレ」(ちよっとしたトレーニング)運動を呼びかけ、体力向上を図る。
- ・「チャレンジかごしま」への積極的な参加を促す。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

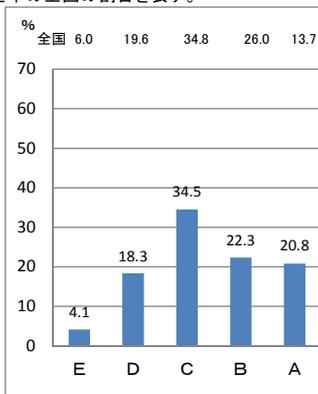
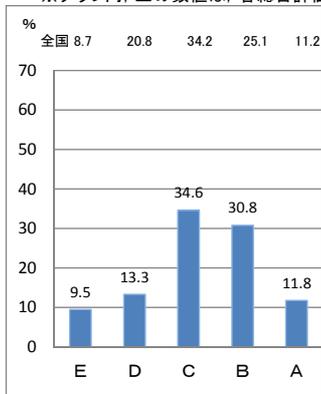
日置市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

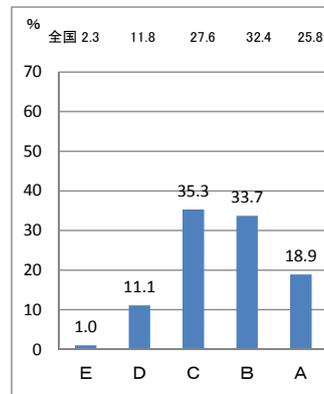
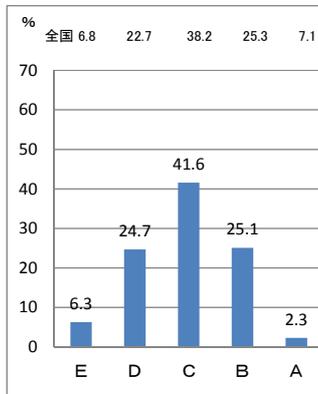
### 〈課題〉

- ・ 男女ともに、A+Bの割合が全国平均より高いが、下位層が、男女ともに約22パーセントもあるため、下位層の底上げが必要である。
- ・ 男女ともに、D、Eの子供の運動実施時間の確保や運動の習慣化を図る工夫が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・ 男女ともに、A+Bの割合が全国平均より低く、C+D+Eの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと中・下位層の底上げが必要である。
- ・ 男子のA(上位層)の割合が全国平均より低いため、上位層のさらなる引き上げが必要である。
- ・ 運動する生徒と運動しない生徒の二極化が進んでいる状況にある。

## 【小学校 運動実施時間】

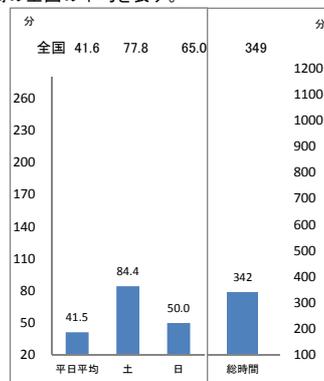
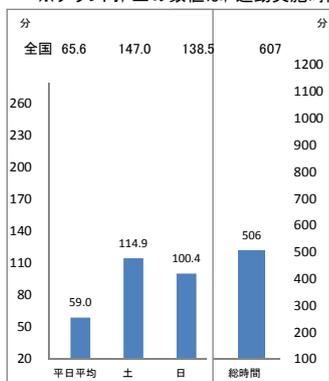
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・ 男子では、平日、土曜日、日曜日の運動実施時間が全国と比較すると短い。
- ・ 女子では、全国と比較すると平日はほとんど差がないが、日曜日の運動実施時間は約15分程短い。
- ・ 1週間の総運動実施時間では、女子は、ほとんど差がないが男子は100分程短く、男女ともに日曜日の運動時間が短い。

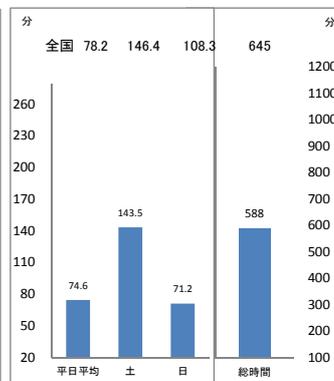
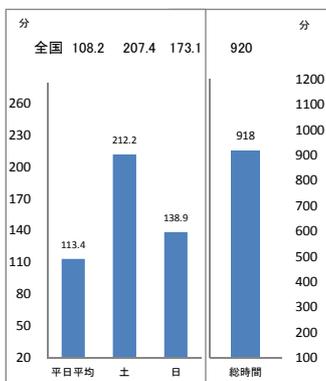
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・ 男子は、全国と比較すると1週間の総運動実施時間にほとんど差はない。ただ、日曜日は運動実施時間が約35分短い。
- ・ 女子は、全国と比較すると平日、日曜日の運動実施時間が短い。
- ・ 日曜日は男女ともに全国と比較すると運動実施時間が約35分程短い。
- ・ 女子の1週間の総運動実施時間は、全国平均より約60分短い。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・ 「チャレンジかごしま」を教育課程に位置付け、児童の運動実施時間の確保

### 【中学校】

- ・ かごしまの子ども「体力向上プログラム(中・高等学校版)」の効果的な活用

### 【共通、その他】

- ・ 日置市体育指導法・実技講習会の開催、日置市「チェスト行けひおきっ子」事業(体育科)研究公開の開催(平成27年度 美山小学校)
- ・ 運動に親しみ、運動の楽しさに触れさせることができるような指導法の工夫と「できるようになる」実感をもたせる指導の工夫→ 授業力の向上
- ・ 日曜参観やPTA行事、家庭育学級等における親子体操等の実施と地域スポーツ行事(梅マラソンや妙円寺詣り、駅伝大会等)への参加

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

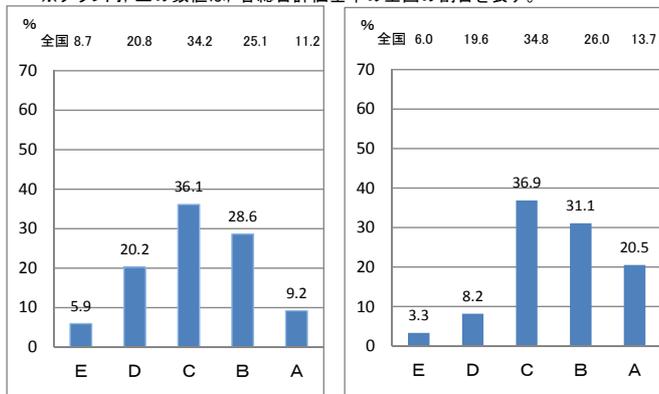
いちき串木野市教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

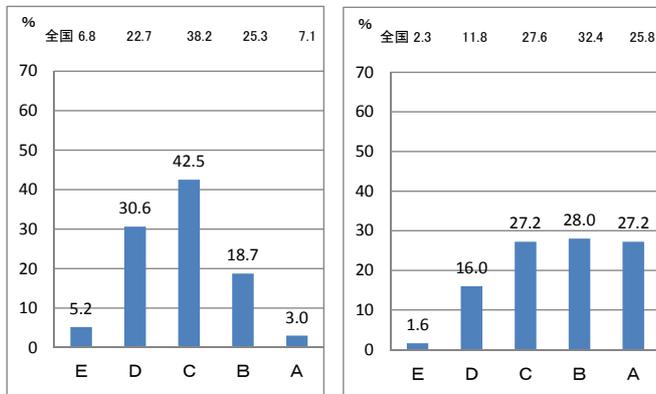
### 〈課題〉

- ・女子においては、A+Bの割合が全国平均より大幅に高く、D+Eの割合は全国平均より低くなっており全体的に高い評価である。
- ・男子においては、A+Bの割合は全国平均より高いものの、D+Eの割合が26.1%もあり、「D、E」の子どもの体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男女ともに、A+Bの割合が全国平均より低く、D+Eの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。
- ・男子においては、D+Eの割合が35.8%もあり、「D、E」の子どもの体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

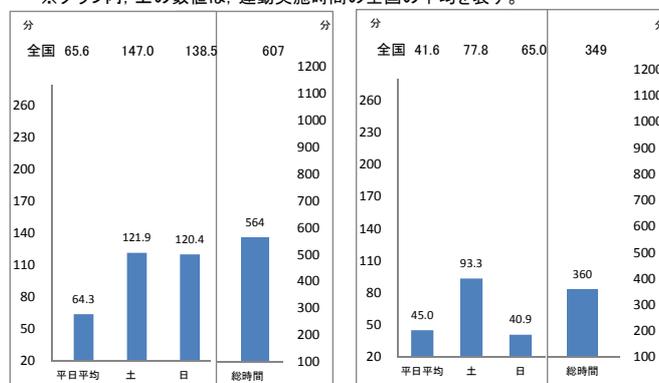
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・小学校男女ともに、平日の運動実施時間については、全国平均とほとんど差がない。
- ・土曜日、日曜日は全国と比較すると、男子は土曜日の運動時間が全国よりわずかに短く、女子は日曜日が全国よりわずかに短い。
- ・1週間の総運動実施時間は、全国と比較すると、女子はほとんど差がないが、男子は短い。

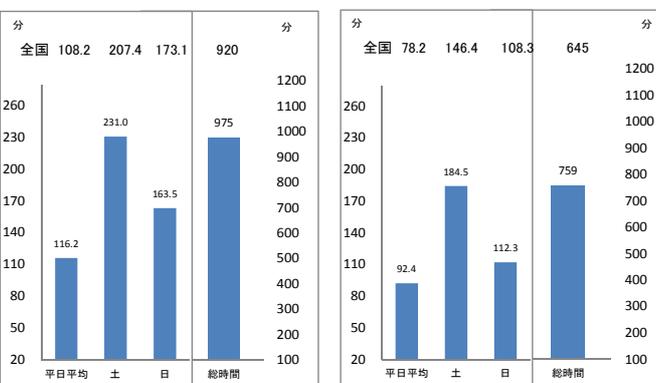
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・中学校男女ともに、平日の運動実施時間については、全国平均とほとんど差がない。
- ・土曜日は全国と比較すると、男子において運動時間が全国よりわずかに長く、女子についても、全国より長い。
- ・1週間の総運動実施時間は、全国と比較すると、男女ともに、全国より長い。

## 【改善策】

【小学校】・体育授業導入時における一校一運動の実施等の児童の運動実施時間の確保

・「チャレンジかごしま」の積極的な活用

【中学校】・保健体育の授業時や部活動時の「かごしま子ども体力向上プログラム」の積極的な活用

【共通・その他】

・家庭でできる運動やスポーツを促す具体的啓発資料の作成及び広報等の充実

・体育・保健体育の授業導入時における体力づくりの工夫・改善

・体育・保健体育の授業時や運動部活動時の地域人材の効果的な活用

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

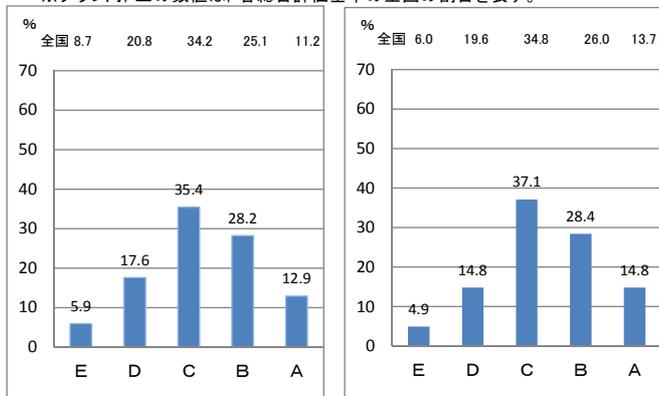
枕崎市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

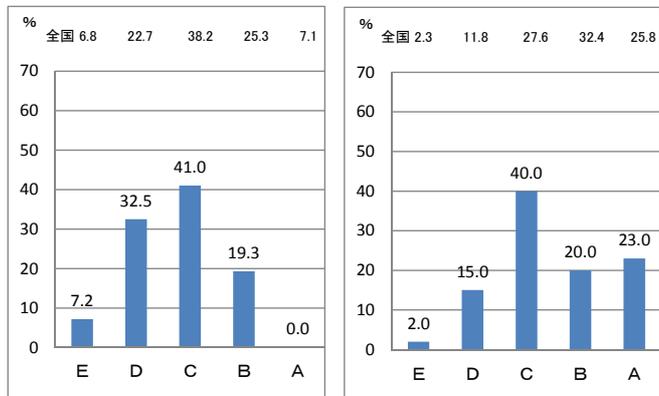
### 〈課題〉

・男女ともに、A+Bの割合が全国平均より高くなっているが、運動に対する二極化がすすんでおり、「D、E」の子どもの体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

・男子は、D+Eの割合が40パーセント近くあり、「D、E」の子どもの体力の向上に向けた取組及び施策の改善に向けた取組が必要である。  
・女子は、A+B+Cの割合が83パーセントを占めており、下位層の底上げが必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

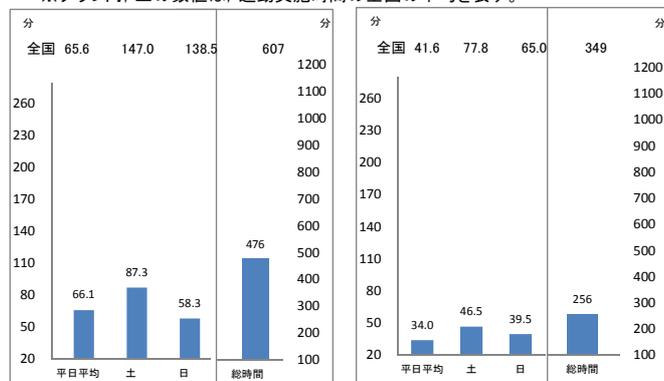
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

・男女ともに、平日の運動実施時間については、全国平均とほとんど差がないが、土曜日、日曜日は全国と比較すると短い。  
・1週間の総運動実施時間は、全国と比較すると、男女ともに、短い。

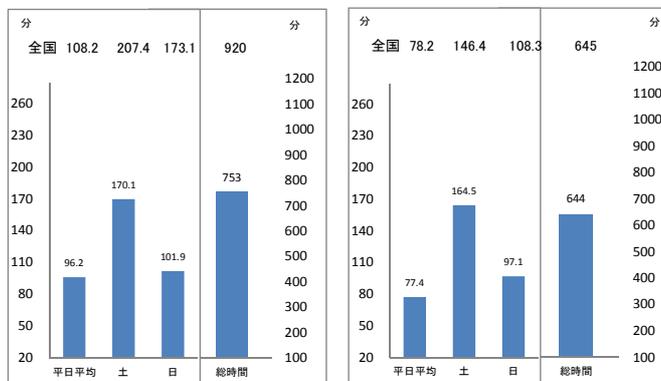
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

・男子は、土曜日、日曜日の運動実施時間、1週間の総運動実施時間ともに全国と比較すると短い。  
・女子は、運動実施時間、1週間の総運動実施時間ともに全国とほとんど差がない。

## 【改善策】

### 【小学校】

・「体力アップ! チャレンジかごしま」を年間活動計画等に位置付けて、組織的・計画的に実施するよう改善を図る。

### 【中学校】

・生徒の体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握・分析し、改善に向けた取組を進める。

### 【その他】

・休日における運動やスポーツを促す具体的資料の作成

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

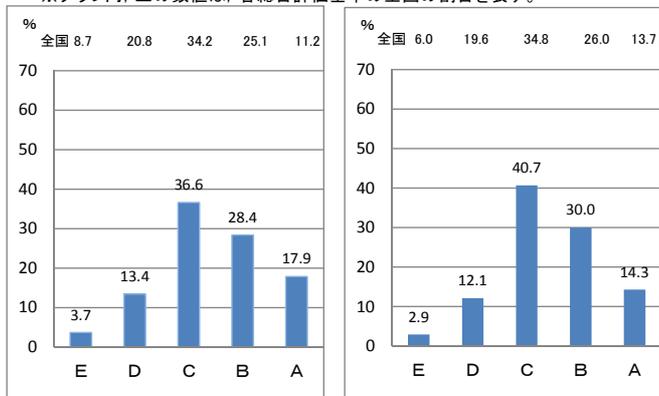
南九州市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

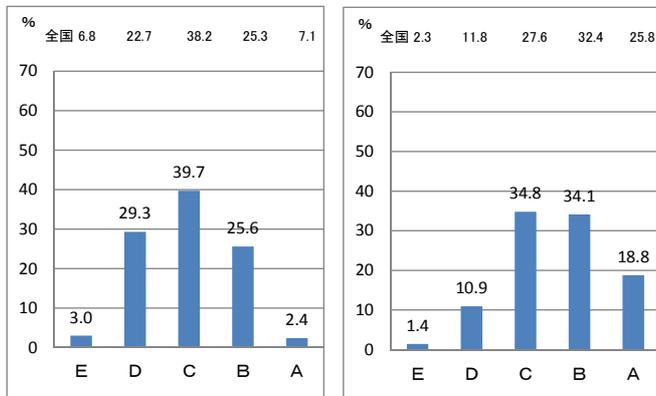
### 〈課題〉

- ・男女ともに、A+Bの割合が全国平均より高く、D+Eの割合が全国平均より低くなっている。D、Eの底上げとともに、一番多く割合を占めているCのB、Aへの引き上げが必要である。
- ・C+D+Eの割合は、男子が53.7%、女子が55.7%である。A+Bの割合の5割到達を目指し、今後、さらに子どもたちの体力及び運動能力への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男女ともに、A+Bの割合が全国平均より低くなっている。男子はD+Eの割合が高く、女子はCの割合が高くなっている。D、Eの底上げとともに、CのB、Aへの引き上げが必要である。
- ・男子はDの割合が29.3%あり、全国平均より高くなっている。Eと併せて特にDの子どもたちの体力及び運動能力への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

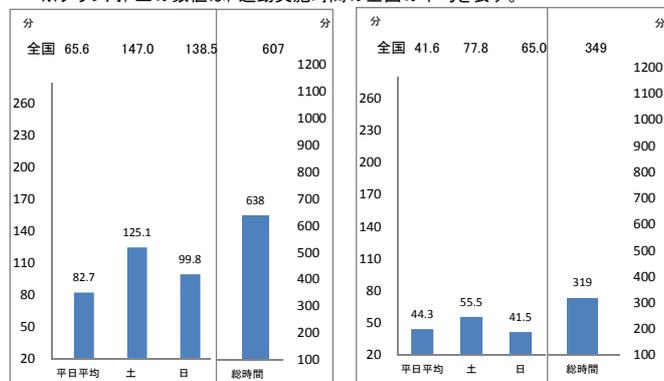
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・小学校男女ともに、平日の運動実施時間については全国平均より若干長いものの、ほとんど差がない。
- ・土曜日、日曜日は全国と比較するとやや短く、特に男子においては日曜日の運動時間が短い。
- ・1週間の総運動実施時間は、全国と比較すると、男子はやや長い、女子はやや短い。

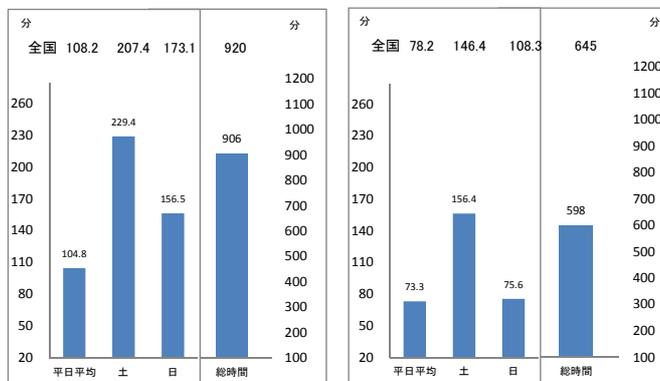
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・中学校男女ともに、平日の運動実施時間については全国平均より若干短い、ほとんど差がない。
- ・土曜日は全国と比較するとやや長く、日曜日は短い。特に女子は日曜日の運動時間が短い。
- ・1週間の総運動実施時間は、全国と比較すると、男女ともに短い。特に女子は47分少なく、差が大きい。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・「体力アップ！チャレンジかごしま」の取組の充実

### 【中学校】

- ・「一校一運動」の取組の充実

### 【共通・その他】

- ・小・中学校合同体育主任等研修会における各中学校区の体力面の課題の共通理解と共通実践事項の確認
- ・体力ナビによる児童生徒の自己の体力面の課題の自覚化を図る取組の推進
- ・家庭で運動に親しむ取組の啓発と休日(長期休業を含む)における運動に関する課題(宿題)の提示

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

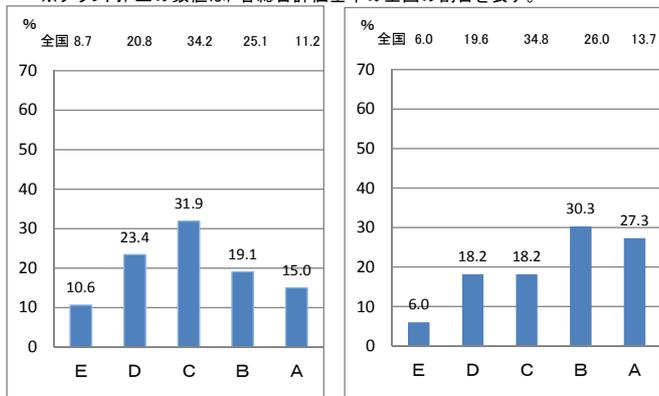
阿久根市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

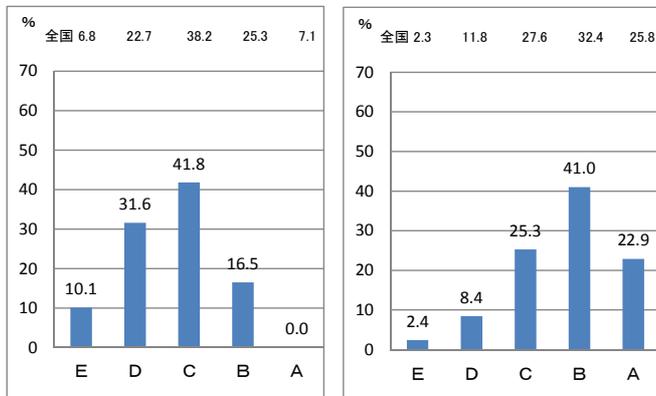
### 〈課題〉

・女子は概ねよい傾向であるが、男子は、評価Aの割合が全国平均と比べ3.8%ほど高くなり、また、評価D、Eの下位層も全国平均と比べ高くなっている。このことから、体力総合評価の二極化が始まっていると思われる。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

・男子は、全国平均と比べると、評価A、Bの割合が大幅に低く、評価D、Eの割合の合計は、大幅に高くなっている。全体的に体力総合評価は低い。  
・女子は、評価Aの割合が若干低くなっている。

## 【小学校 運動実施時間】

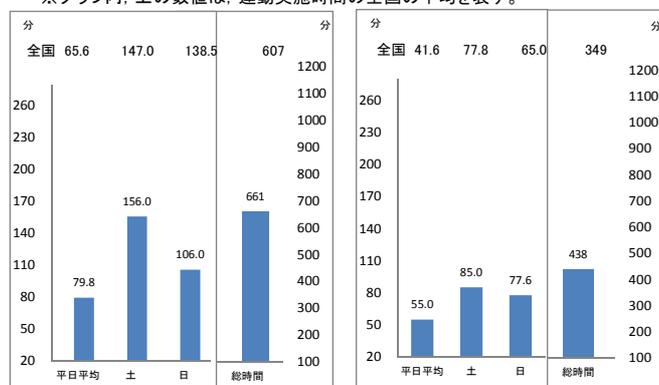
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

・男女とも、全国平均と比べ1週間の運動総時間は長くなっており、大きな課題は見られないが、地理的に日没の時間が遅いため、場合によっては活動時間が長くなり過ぎ、疲労が蓄積する可能性もある。  
・各人のコンディションを踏まえた上で活動を行う必要がある。

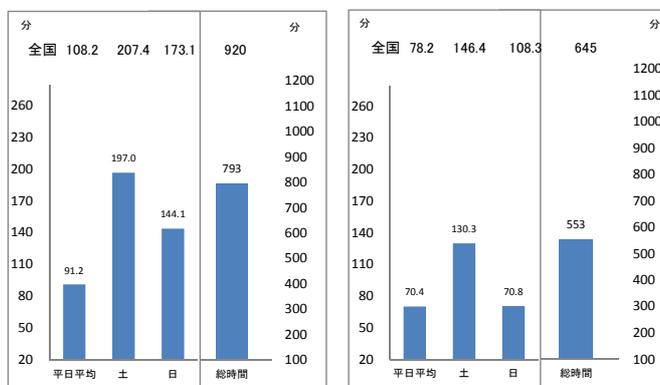
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

・男女とも、全国平均と比べ、平日及び土日全ての運動時間が10分以上短くなっている。適切な運動時間の確保が課題である。

## 【改善策】

【小学校】→共通、その他に同じ

【中学校】

- ・各中学校とも生徒の毎日の運動時間の正確な把握
- ・運動の必要性和効果について生徒に認識させる工夫

【共通、その他】

- ・運動が苦手な子供でも楽しく活動でき、得意な子供との差があまり出ないような運動の紹介
- ・子供のみならず、保護者も運動を楽しみ、日常生活の中にも運動を定着させるための啓発活動
- ・体育の授業において、運動が苦手な子供が苦痛を感じない個に応じた指導法の工夫及び、発問や声掛けのポイントの明確化

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

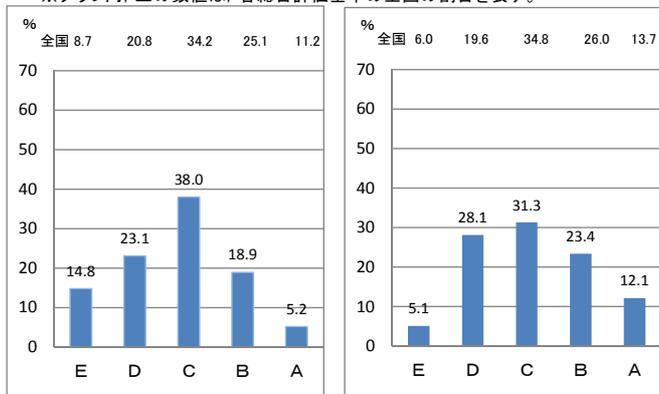
出水市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

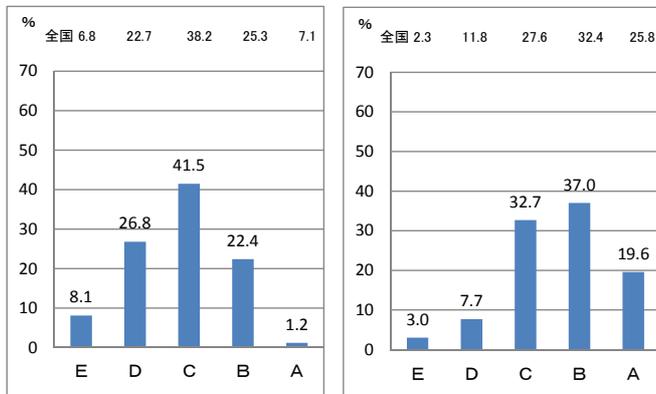
### 〈課題〉

- ・男女ともに、A+Bの割合が全国平均より低く、D+Eの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。
- ・男子は、Eの割合が14.8パーセントと多く、Aの割合が5.2パーセントと低い。最下位層への基礎体力・運動能力に関する個別の支援及び上位層を引き上げるための「一校一運動」の計画的・継続的な取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男子は、A+Bの割合が全国平均より低く、D+Eの割合が全国平均より高くなっており、全体的な底上げが必要である。女子は、D+Eの割合が平均より低く、全体的にもほぼ平均的な傾向である。
- ・男女ともに、Aの割合が男子1.2パーセント、女子19.6パーセントと低いことから、上位層を引き上げるために、運動部活動などと連携した運動能力の向上に努める必要がある。

## 【小学校 運動実施時間】

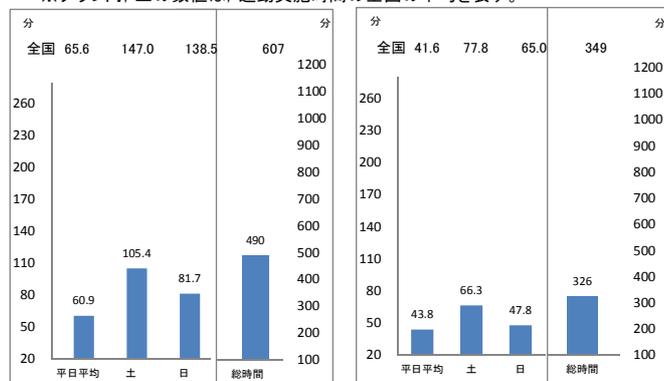
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・平日の運動時間は、男女ともに全国平均とほとんど差がない。
- ・土曜日、日曜日の運動時間は、男女ともに短い。特に男子においてはその差が大きい。
- ・したがって、1週間の総運動実施時間は、全国平均に比べると女子はわずかに短い程度であるが、男子は非常に短い。

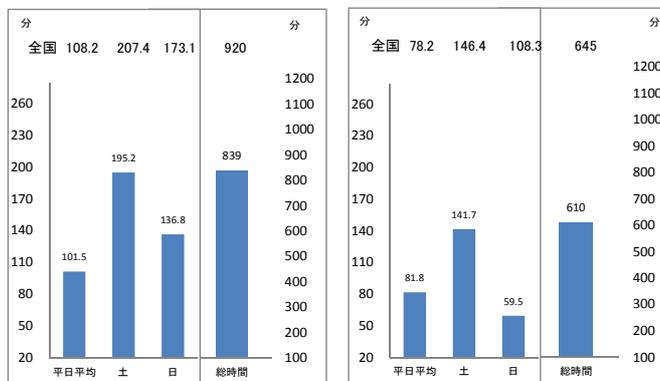
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・平日の運動時間は、男女ともに全国平均とほとんど差がない。
- ・土曜日、日曜日の運動時間は、男女とも土曜日はほとんど差がないが、日曜日は男女とも短い。
- ・したがって、1週間の総運動実施時間は、全国平均に比べると男女ともに短い。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・児童の体力・運動能力の実態に応じた「一校一運動」の改善及び個々の能力に応じた種目・目標・負荷等の設定

### 【中学校】

- ・生徒の体力・運動能力の実態に応じた体育科授業の展開・改善(効果的な補助運動・補強運動の選定及び時間設定など)

### 【共通、その他】

- ・学校便り・保健便り等にコーナーを設け、運動の必要性や具体的な運動事例を紹介し、「一家庭一運動」の推進を図る。
- ・運動部活動やスポーツ少年団指導者へ情報提供により、種目特有の運動能力の向上とともに基礎的な運動能力の向上を目指す。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

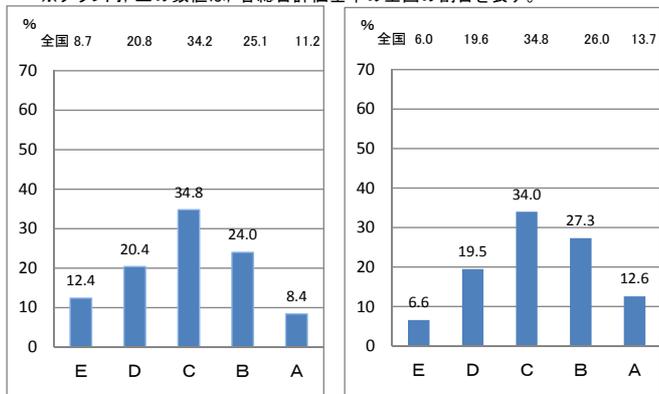
薩摩川内市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

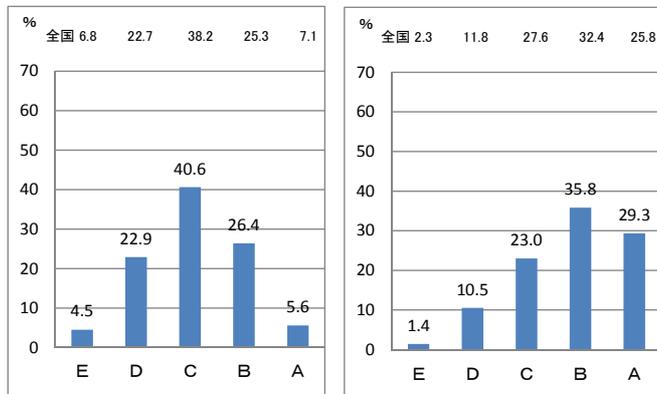
### 〈課題〉

- ・小学校男子は、全国平均の割合と比べると、(D+E)の割合が高く、「D、E」の児童の体力の底上げや運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。
- ・小学校男女ともに、全国平均の割合と比べるとAの割合が低く、上位層の体力の引き上げを図っていく必要がある。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・中学校男子は、全国平均の割合と比べると、中間層の割合が高くなっており、中間層の生徒の体力の底上げが必要である。
- ・中学校女子は、全国平均の割合と比べると、(A+B)の割合が全国平均より高く、(D+E)の割合が全国平均より低くなっている。より体力の向上を目指すために、すべての生徒の体力の底上げや運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

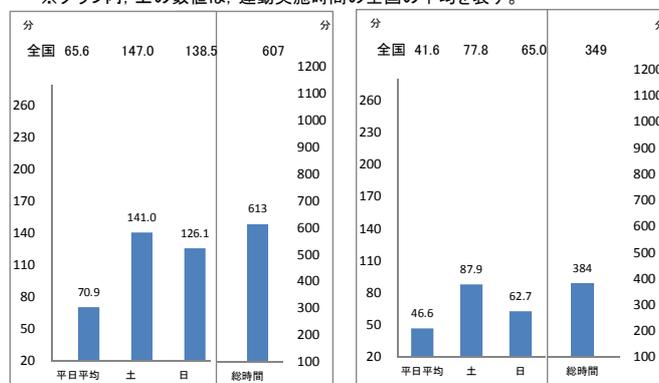
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・小学校男子は、全国平均と比較すると、平日の運動実施時間・総運動実施時間は長くなっている。土・日曜日の運動実施時間を延ばしていく必要がある。
- ・小学校女子は、全国平均と比較すると、平日・土曜日の運動実施時間、総運動実施時間は長くなっている。日曜日の運動実施時間を延ばしていく必要がある。

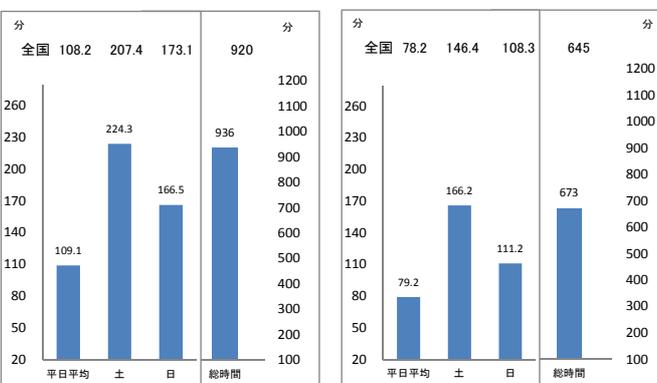
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・中学校男子は、全国平均と比較すると、土曜日及び総時間の運動実施時間が、全国平均より長くなっている。日曜日の運動実施時間を延ばしていく必要がある。
- ・中学校女子は、全国平均と比較すると、すべての運動実施時間で、全国平均より長い。平日の運動実施時間を延ばしていく必要がある。

## 【改善策】

【小学校】・……小学校体育主任等研修会の充実(体力向上につながる実践の紹介、実技指導研修会の実施)

- ・体育授業、業間体育に「一校一運動」を確実に位置付け、継続して実践
- ・「チャレンジかごしま」を活用した「チャレンジさつませんたい」の実施(市独自で集計)

【中学校】・……中学校における一校一運動の工夫(運動能力調査の課題に基づく、年間を通した体育授業での補強運動の実施、運動部活動との連携)

【共通・その他】・各小中学校における学校保健委員会等での体力に関する講話や実技講習会の実施

- ・「一家庭一運動」の全校実施
- ・管理職研修会の活用(本市の状況報告と具体策の周知)
- ・他課と連携し、休日における運動イベント(わくわく薩摩川内土曜塾)の情報提供

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

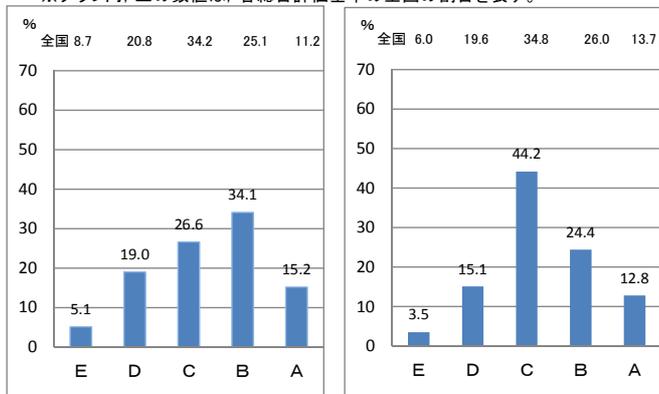
さつま町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

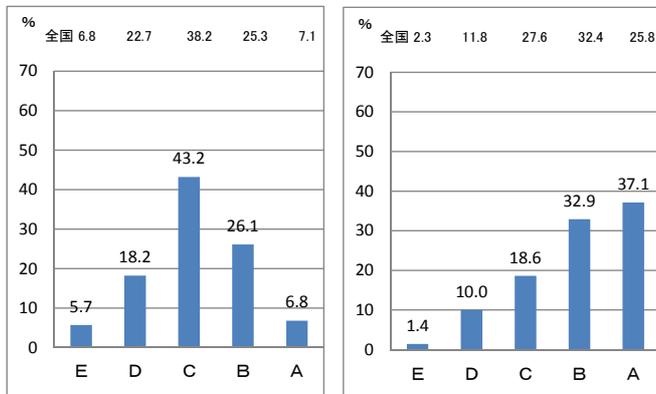
### 〈課題〉

- ・A+Bの割合が男子は全国を大きく上回っているが、女子はやや下回っている。しかし、D+Eの割合が男女とも下回っており、概ね良好な結果と言える。
- ・男子については、Dの子供たちが全国並みに多い。Cに引き上げる取組を、女子については、Cでとどまっている子供をB、Bにとどまっている子供をAに引き上げる取組を重ねるとより望ましい状況になる。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男子は、A～Eほぼ全国並み、女子はAが突出して多く、他のランクが下がっており、女子については望ましい結果となった。
- ・男子については、Cでとどまっている子供をB、Aに引き上げる取組を、女子については、D・Eの子供をCまで引き上げる取組が重ねられるとより望ましい状況になってくる。

## 【小学校 運動実施時間】

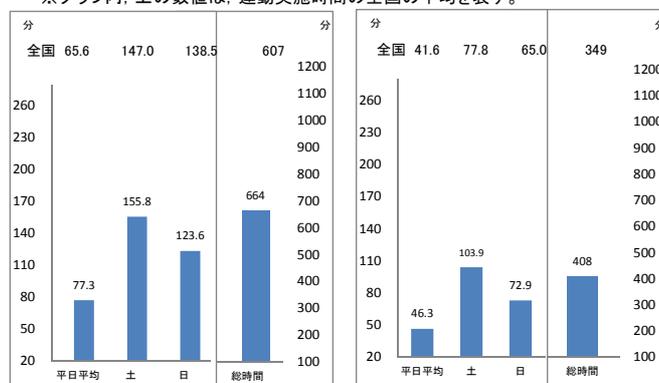
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・平日・土曜日の運動実施時間については、全国平均よりやや長い。
- ・日曜日については、女子は全国並みであるが、男子は短い結果になっている。
- ・1週間の総運動時間は、男女とも全国平均より長く、体力総合評価が全国平均を上回っているのは、この運動実施時間の長さも大きな要因になっていることが分かる。

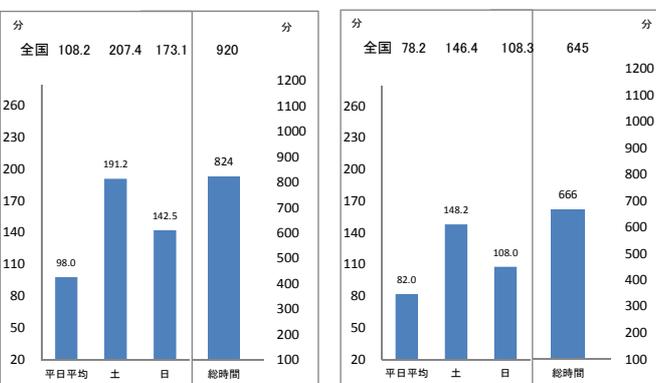
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・男子は、平日平均、土・日、総時間のいずれとも全国平均を下回る結果である。特に土・日の運動時間が大きく下回っている。
- ・女子は、全ての項目でほぼ、全国並みである。
- ・男子は、運動実施時間の不足が高い体力を持つ子供の相対的な低さにつながっていると推測できる。
- ・女子は、時間的にはそれほど多くない割には、体力が優れており、先天的な能力の高さや運動の質の高さが反映していると推測される。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・平日、土・日に限らずよく運動をする子供と戸外での遊びをはじめ、ほとんど運動をしない子供の二極化が進んでいる。進んで運動に取り組もうとしない子供への興味・関心を高める取組が必要である。
- ・「体力向上！チャレンジがごしま」への申告率を今年度よりも上げ、休み時間を中心に友達と体を動かす環境づくりをより進める。

### 【中学校】

- ・運動部活動への加入率は、71.2%であり、県平均の66%を上回っており、部活動で体を鍛えている生徒の割合が多いと言える。運動部活動に加入していない生徒の運動量を確保するためにも教科体育の充実を図る。

【小・中学校共通】・歩いての登下校、ゲーム遊びの時間など家庭と学校が連携した体を動かす習慣作りに対する取組を強化していく。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

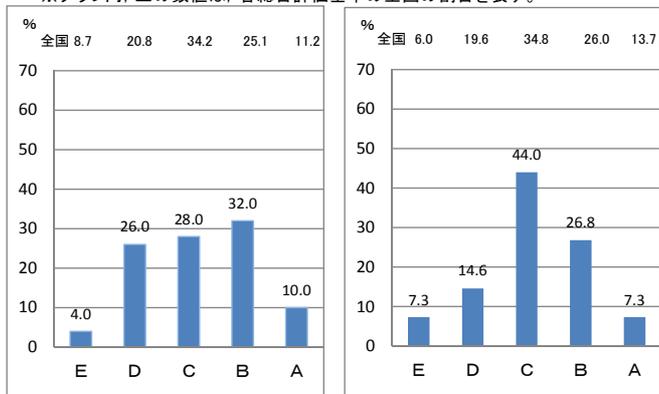
長島町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

### 〈課題〉

- ・男子はA+Bの割合が全国平均より高く、D+Eの割合が全国平均とほぼ同じであり、Cの割合が全国平均より低いことから、中位層の引き上げが必要である。
- ・女子はA+Bの割合が全国平均より低く、D+Eの割合も全国平均より低く、Cの割合が全国より高いことから、上位層の引き上げが必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

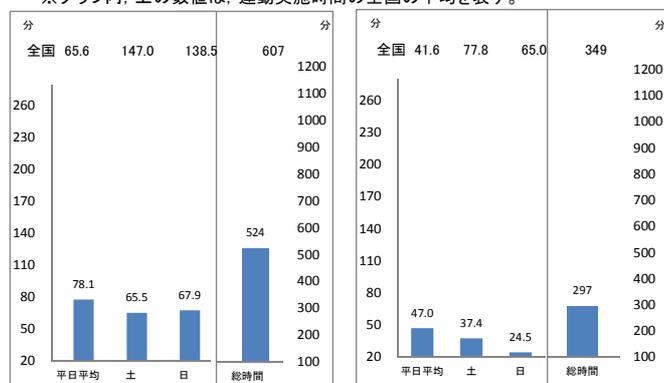
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・男女ともに平日の運動実施時間については、全国平均より高い。
- ・土曜日・日曜日の運動実施時間については、男女ともに全国平均より低く、特に女子においては全国平均との差が大きい。
- ・1週間の総運動実施時間は、全国平均と比較すると、男女ともに低いことから、土曜日・日曜日の運動実施時間の確保が必要である。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・始業前、業間等における「一校一運動」の継続及び内容の充実を図るとともに、休日における運動実施時間の確保を図るため、学校・保護者・地域との連携を、なお一層図る。
- ・本町の特色である「カヌー・カッター」教室への積極的な参加を促す。(社会教育課との更なる連携と強化)

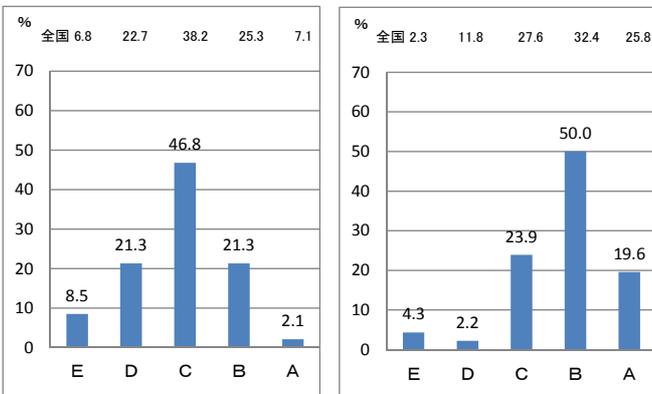
### 【中学校】

- ・適切な運動部活動の在り方や効果的指導法について、管理職研修会や町教育研究会保健体育部会等において具体的に方策等を示し、教職員に周知する。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男子はA+Bの割合が全国平均より低く、D+Eの割合は全国平均とほぼ同じであり、Cの割合が全国平均より高いことから、上位層の引き上げが必要である。
- ・女子はA+Bの割合が全国平均より高く、D+Eの割合が全国平均より低く、Cの割合が全国より低いことから中位層の引き上げが必要である。

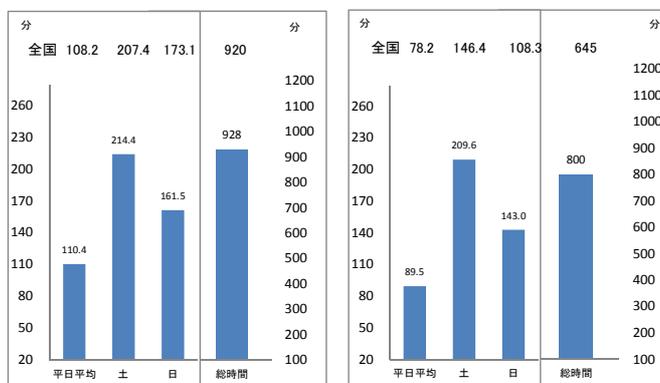
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・男女ともに平日の運動実施時間については、全国平均より若干高い。
- ・土曜日・日曜日の運動実施時間については、男子は全国平均とほとんど差はないが、女子は全国平均よりかなり高い。
- ・1週間の総運動実施時間は、全国平均と比較すると男子は全国平均と差はないが、女子は全国平均よりかなり高い。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

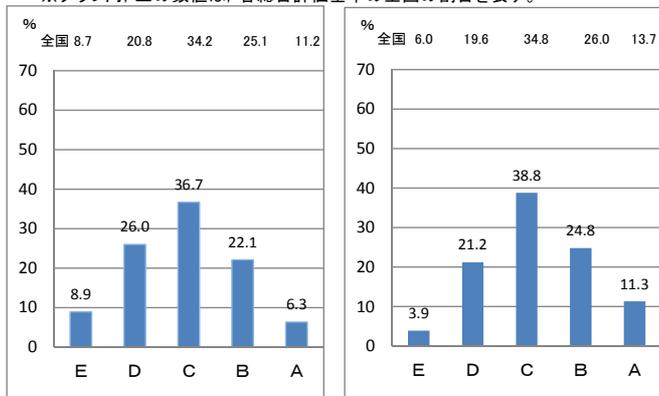
霧島市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

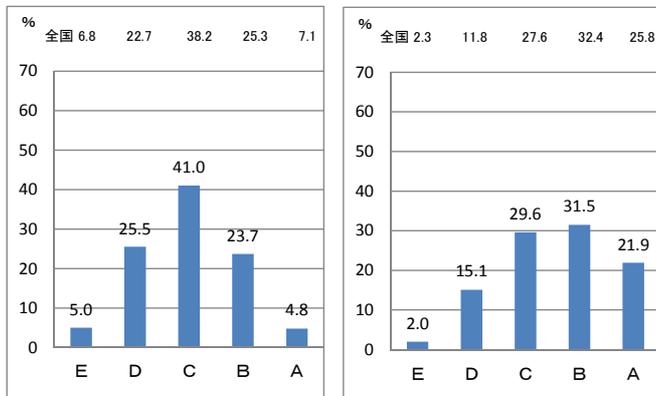
### 〈課題〉

○男女ともに、Bの割合が全国平均より低く、Dの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。  
○中間層であるCの割合は、全国平均より高いので、この層を伸ばすことも課題である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

○男女ともに、Bの割合が全国平均より低く、Dの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。  
○中間層であるCの割合は、全国平均より高いので、この層を伸ばすことも課題である。

## 【小学校 運動実施時間】

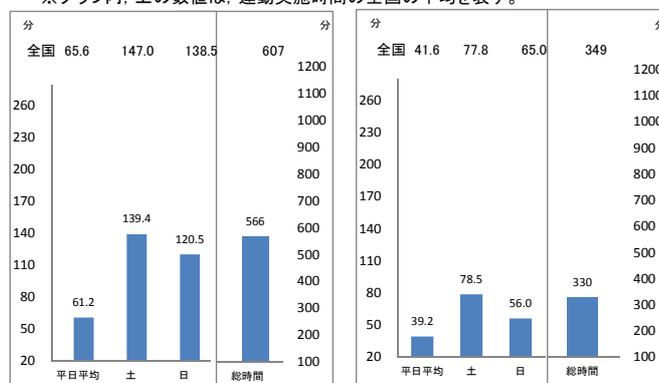
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

○小学校男女ともに、平日の運動実施時間については、全国平均にくらべて低い。  
○土曜日、日曜日において、全国と比較すると運動実施時間が短く、特に日曜日の運動時間の差が大きい。  
○1週間の総運動実施時間は、全国と比較すると、運動実施時間が短い。

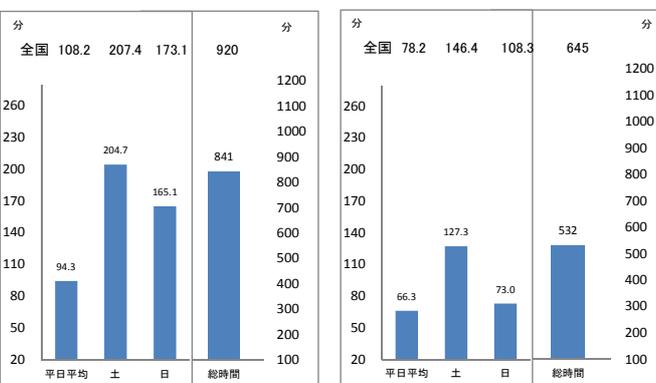
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

○中学校男女ともに、平日の運動実施時間については、全国平均にくらべて低い。  
○土曜日、日曜日において、全国と比較すると運動実施時間が短く、特に女子は、日曜日の運動時間の差が大きい。  
○1週間の総運動実施時間は、全国と比較すると、運動実施時間が短い。

## 【改善策】

- 教育課程に全学年の体力テストを位置付け、体カナビ等を活用して、分析等を行い、自校の課題を明確にする。
- 自校の課題に即した教科体育の充実(分かる・できる体育、運動量の確保、補強運動の充実、授業を通じた研修等)
- 自校の課題を基に「一校一運動」の見直しを行う。
  - ・ 小学校の場合は「チャレンジ鹿児島」を取り入れ。
  - ・ 中学校においては、運動部活動と連携等をして自校の体力向上の課題の解決を図る。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

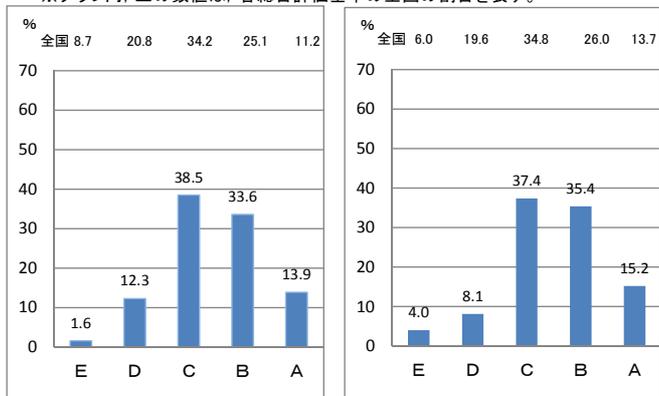
伊佐市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

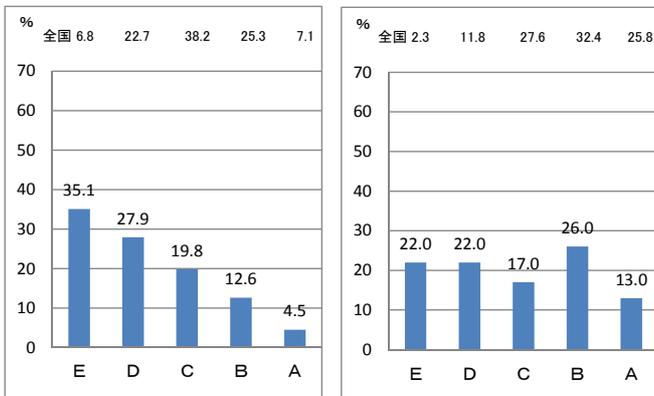
### 〈課題〉

- ・男女ともA, Cの割合は全国平均並である。
- ・男女ともBの割合が全国平均より高くなっている。
- ・男女ともD, Eの割合が低いことから、全体的な体力は全国平均を上回っているといえる。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男女とも(E+D)の割合が全国平均に比べ高い。
- ・男女とも(A+B)の割合が全国平均に比べ低い。
- ・男女ともD, Eの割合が高いことから、子どもの体力を高めるとともに運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

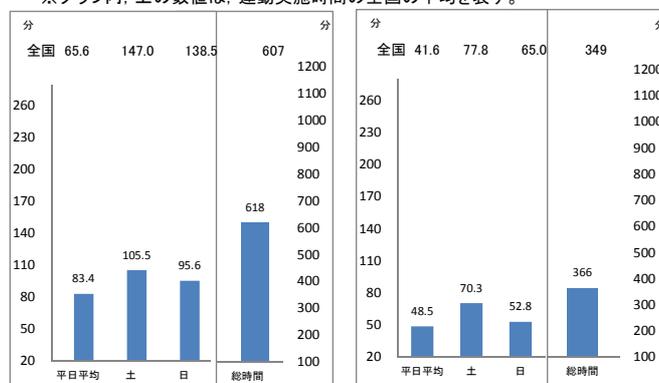
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・男女とも平日の運動実施時間は全国平均とほとんど差がない。
- ・男子は、日曜日の運動時間が全国平均に比べるとやや少ない。
- ・男女とも、1週間の総運動時間は全国平均とほとんど差がない。

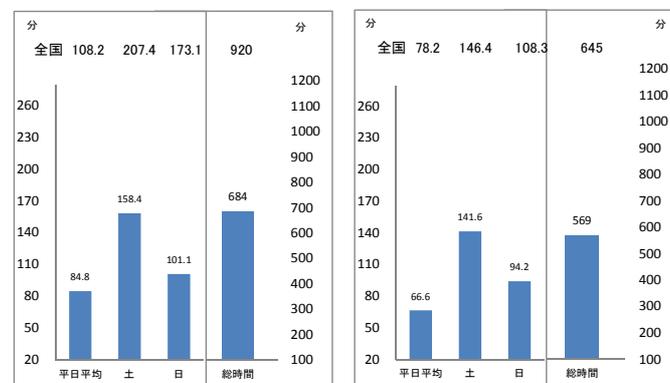
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・男子は、全国平均と比較すると、平日はわずかな差であるが、土日は運動実施時間が短い。
- ・女子は、全国平均とほぼ差がない。
- ・総運動実施時間でも男子が全国平均より短い。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・体育主任等会で「伝承遊び」や「集団遊び」の紹介をしながら、平日の児童の運動時間を確保していく。
- ・体幹トレーニング研修を開催する。

### 【中学校】

- ・体幹トレーニング研修を開催し、運動部活動指導者の指導法改善を行うとともに、生徒の運動に対する意識改革を目指す。

### 【共通】

- ・管理職研修会等で運動やスポーツを促す具体的な資料を提示する。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

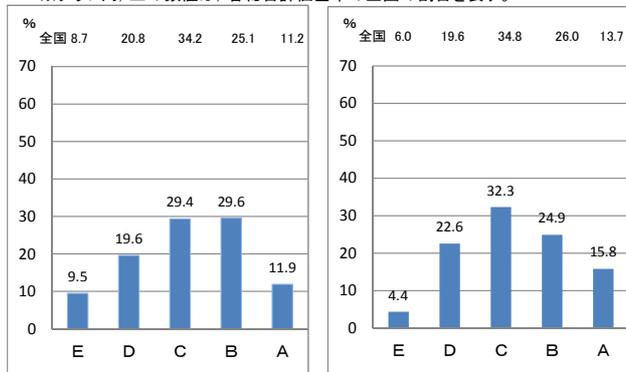
始良市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

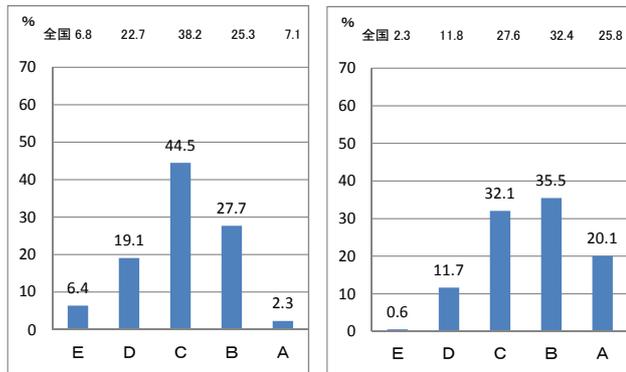
### 〈課題〉

- ・男女ともに(A+B)の上位層の割合が全国平均よりも高い傾向にある。しかし、男子では、Eの割合が全国よりも高くなっており、E層の底上げが必要である。女子では、(D+E)の割合が全国よりも高くなっており、下位層の底上げが必要がある。
- ・男女ともに(D+E)の割合が約30%もあり、「D、E」の子供の体力向上及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男女ともに、(A+B)の割合と(D+E)の割合は全国平均よりも低く、また、Cの割合が全国より高くなっており、上位層の引き上げが必要である。男子は、C層を中心に上位層と下位層の二極化が見られるので、下位層の底上げが必要である。
- ・男子は、(D+E)の割合が25.5%であり、「D、E」の子供の体力向上及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

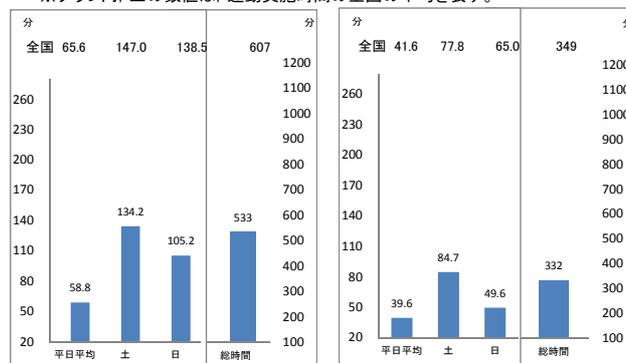
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・男女ともに平日の運動実施時間については、全国平均とほとんど差はない。しかし、男子は、土・日の両日も全国と比較すると短く、女子においては、日曜日の運動時間の差が大きい。
- ・1週間の総運動実施時間は、全国と比較すると、女子はほとんど差はないが、男子が短い。
- ・学校へは1日60分運動(外遊び)を推進し、家庭においては、一家庭一運動が定着するような取組が必要である。

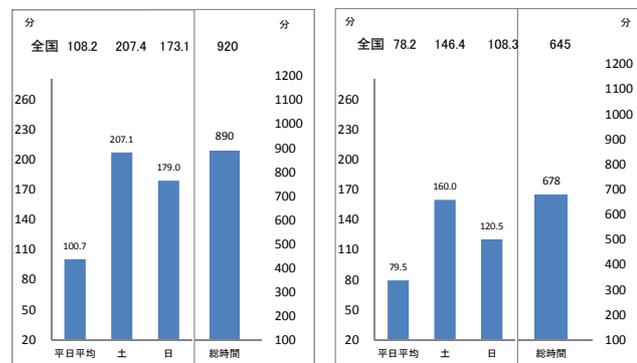
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・男子の平日、土・日の運動実施時間については、全国平均とほとんど差は見られないが、平日の運動時間が全国と比較するとやや短い。女子については、平日、土・日ともに全国と比較すると長い。
- ・1週間の総運動時間は、全国と比較すると男子は30分短く、女子は30分長い。
- ・平日に運動する機会が少ない部活動に加入していない子供等の運動時間を確保する取組が必要である。

## 【改善策】

- ① 調査結果の活用(調査実施・分析、数値目標、具体策、達成状況の把握)
- ② 教科体育の充実(補強運動の設定(劣る体力)、運動量の確保、学習内容を明確にした授業実践)
- ③ 「一校一運動」の推進(評価カードや体育コーナー掲示板等を活用しながら、伸びが分かる工夫の実践。)(児童会・生徒会活動と運動させた実践)
- ④ 体力アップ! チャレンジがごまへの参加(小学校:全学年、全学級での取組。体育掲示板の活用。)
- ⑤ 指導力向上を図る実技研修会、運動部活動顧問研修会、体育主任研修会等の実施
- ⑥ 1日60分運動の推進(始業前や休み時間等を活用した運動・外遊びの推進)
- ⑦ 「一家庭一運動」(親子スポーツ運動)の実践と生活習慣の確立(家庭教育学級、学校保健委員会等での体力向上や生活習慣に関する講話)
- ⑧ 保護者への体力・運動能力、運動習慣等の結果の公表

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

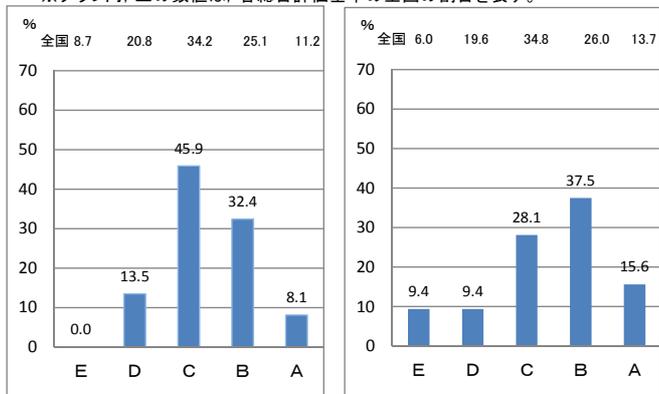
湧水町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

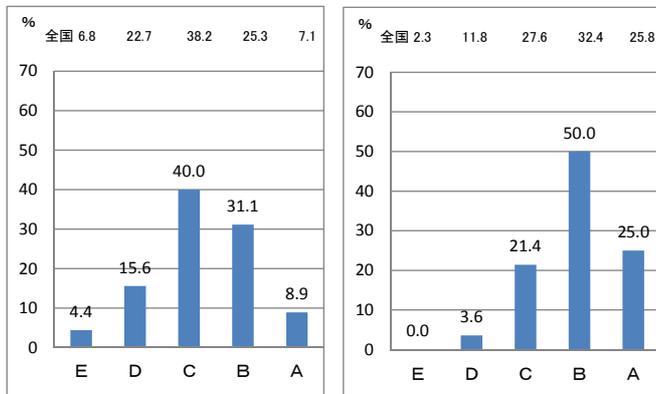
### 〈課題〉

- ・ 男子のAの割合が全国平均と比較して下回っているので、上位層の引き上げが必要である。
- ・ 女子ではEの部分が全国平均と比較して高くなっているため、下位層の底上げが必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・ 男女ともに全国平均と比較して上回っており、今の状態を継続することが課題である。

## 【小学校 運動実施時間】

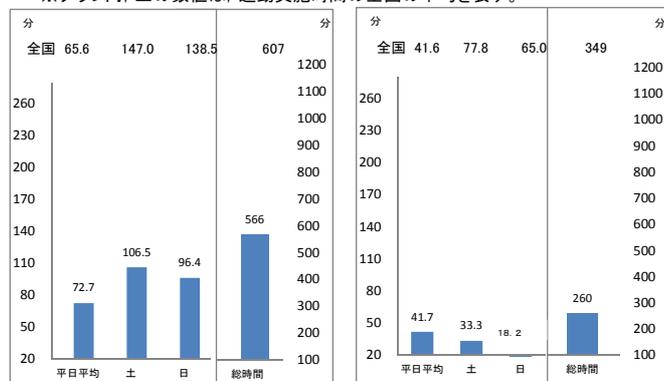
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・ 男女ともに平日の運動実施時間については、全国平均と比較して長くなっているが、土・日曜日は短い。特に女子において顕著である。
- ・ 1週間の運動実施時間については、男女ともに短く、特に女子において顕著である。

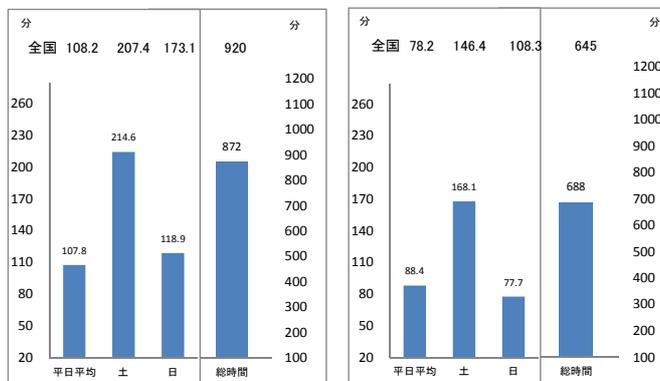
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・ 平日の運動実施時間については、ほとんど全国平均と比較して差がないが、日曜日については、短くなっている。
- ・ 1週間の運動実施時間については、全国平均と比較して男子においてわずかに短い。

## 【改善策】

- 〈小学校〉
  - ・ 家庭や地域と連携した土・日曜日の運動実施時間の確保
  - ・ 早朝や放課後などの課外活動を活用した運動時間の確保
- 〈中学校〉
  - ・ 家庭や地域と連携した、日曜日の運動実施時間の確保
  - ・ 部活動に参加しない生徒の運動実施時間の確保等の取組強化
- 〈共通・その他〉
  - ・ 休日における運動やスポーツを促す施策の一層の推進

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

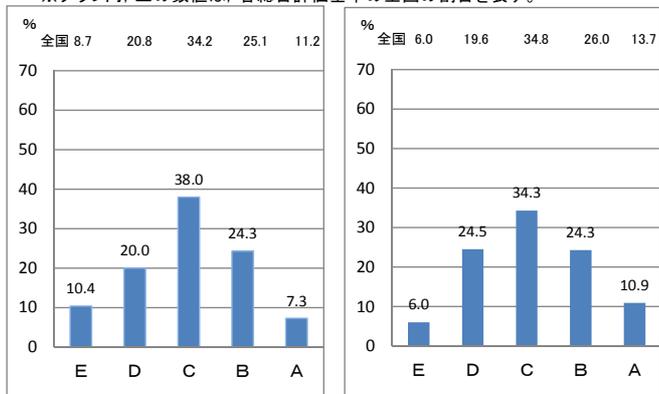
鹿屋市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。  
小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

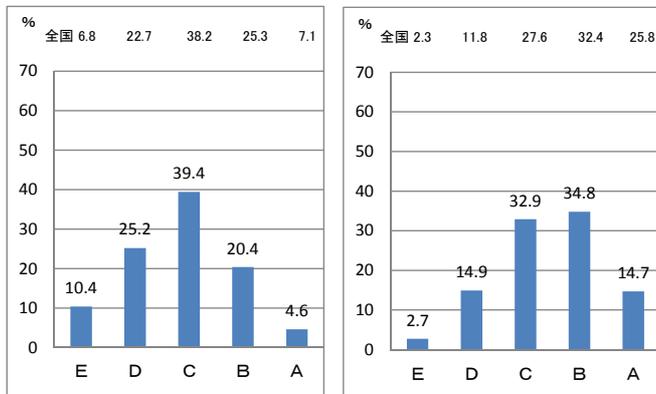
### 〈課題〉

- ・男女ともに、A+Bの割合が全国平均よりも低く、D+Eの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。
- ・男女ともに、特に下位層の引き上げのため、体力向上の取組や運動への興味・関心を高める取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。  
中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男女ともに、A+Bの割合が全国平均よりも低く、D+Eの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。
- ・男女ともに、特に中・下位層の引き上げのため、体力向上の取組や運動への興味・関心を高める取組が必要である。

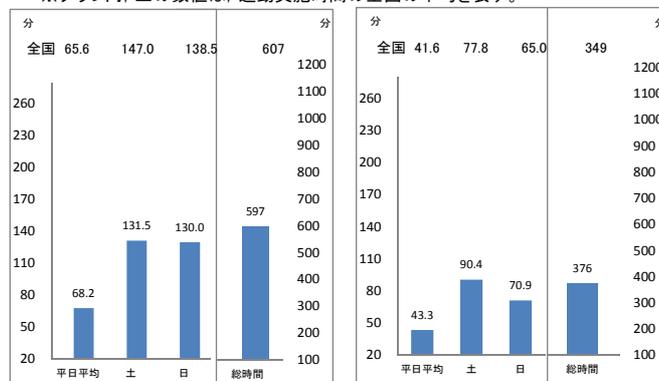
## 【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

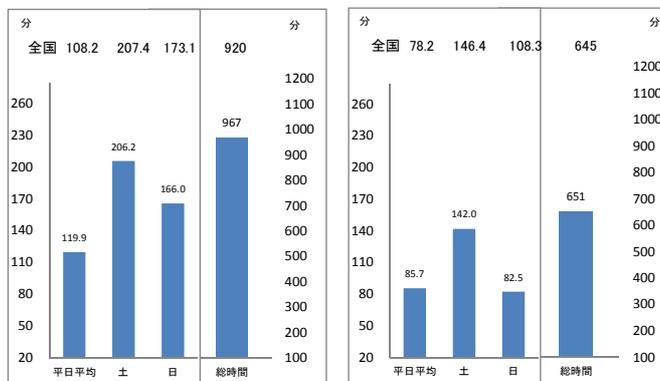
- ・女子の運動時間は、平日・土日・総運動時間すべて全国平均を上回っている。男子は平日のみ上回っているが、土日や総運動時間は全国平均を下回っている。家庭や地域と連携を図り、男子は特に日曜日の運動時間を増やす取組が必要である。
- ・中学校において急激に運動時間が増える傾向があるので、男女ともに小学校段階で更に運動時間を増やす必要がある。

## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・男女ともに、平日と一週間の総運動時間は全国平均を上回っているが、土日の運動時間は全国平均よりも短い。特に、日曜日の運動時間が短く、家庭や地域と連携を図った取組が必要である。
- ・男子と比べると女子の運動時間が全体的に低いので、特に女子において運動への興味・関心を高める取組の充実を図っていく必要がある。

## 【改善策】

- ・教科体育の充実を図る。特に、「種目の特性に触れさせ運動意欲を高める」、「十分な運動量を確保した授業の実践」の2つに取り組む。
- ・すべての小学校においてチャレンジがごしまに取り組みむとともに、すべての小・中学校において体力ナビを活用し、個に応じた指導の徹底を図る。
- ・すべての学校で行っている「一校一運動」の充実を図り、体力・運動能力、運動習慣等調査で明確になった各学校の課題の改善を図る。
- ・各中学校区における小中連携の取組において、体力向上の取組の充実を図り、9か年を見通した体力向上を図る。
- ・PTAや家庭教育学級において体力向上の研修会や講座を設定し、親子で体を動かしたり、保護者への啓発を図ったりする。
- ・小学校の体育担当者会において、市内の模範的な取組の紹介や具体的な資料の提供と啓発を図る。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

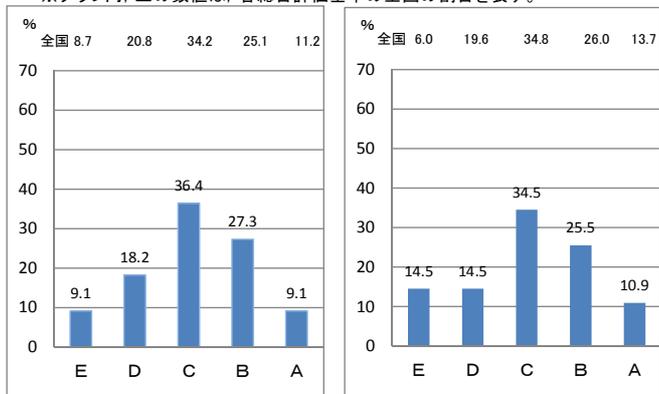
垂水市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

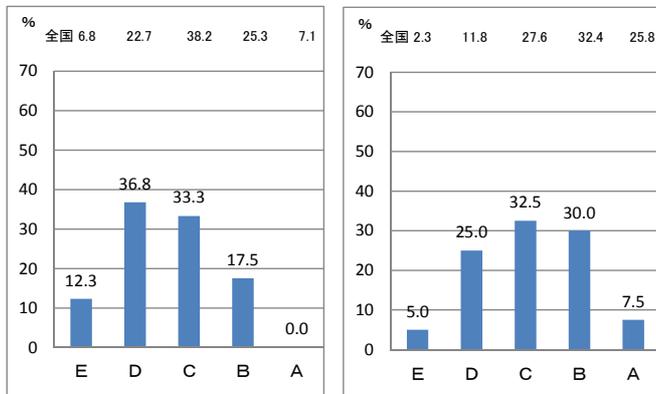
### 〈課題〉

- ・男女ともに、A+Bの割合が全国平均よりやや低く、D+Eの割合が全国平均よりやや高くなっており、特に女子のEの占める割合が高い。
- ・男女ともに、D+Eの割合が27～29%あり、体育の授業以外の運動への興味関心を高める工夫が必要である。
- ・ソフトボール投げ、20mシャトルラン、反復横跳び等の運動につながる日常的な運動への取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男子は、A+Bの割合が全国平均よりかなり低く、D+Eの割合が全国平均よりかなり高い。総合的に体力向上が必要である。
- ・女子は、Aの割合が全国平均よりかなり低く、D+Eの割合が全国平均より高くなっている。下位層の体力向上が課題である。
- ・男子は、D+Eの割合が49.1パーセントとかなり高く、女子は、Dの占める割合が全国に比べて高い。

## 【小学校 運動実施時間】

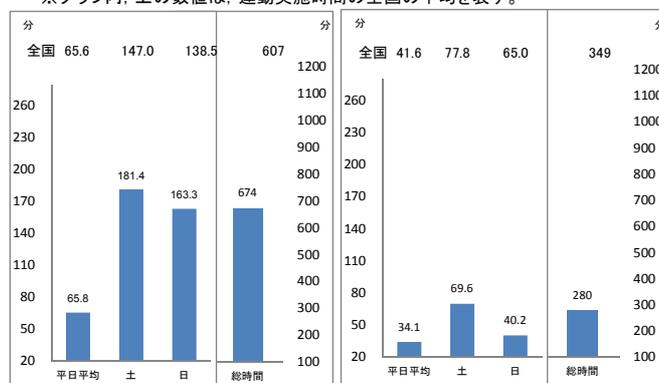
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・男子は、平日平均、土、日の運動実施時間が全国平均を上回っている。
- ・女子は、総時間が全国平均よりかなり下回っており、平日平均、土曜日、日曜日の全ての運動実施時間も同様に下回っている。
- ・女子は、学校生活、家庭生活において、屋内外における運動時間(運動量)の確保に努める必要がある。

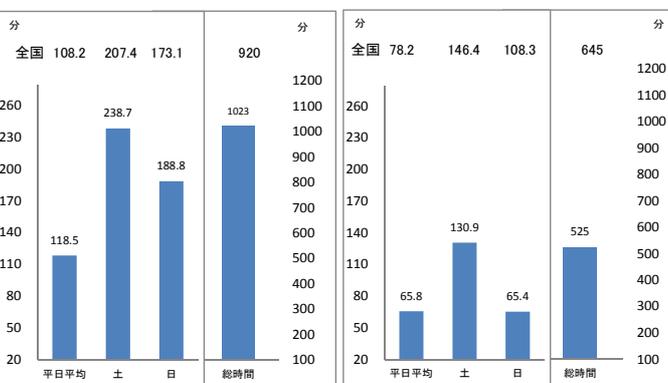
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・男子は、平日平均、土、日の運動実施時間が全国平均を上回っている。
- ・女子は、総時間が全国平均より下回っており、特に日曜日の運動実施時間が全国平均より大きく下回っている。
- ・女子は、部活動以外においても、運動時間(運動量)の確保に努める必要がある。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・「チャレンジかごしま」の種目を活用しての体力向上を意識した特色ある教育活動の取組の充実

### 【中学校】

- ・保健体育の授業における補助運動(ランニング、ラジオ体操、腹筋、腕立て、馬跳び等)の継続と運動部活動の充実

### 【共通・その他】

- ・「チャレンジ! 体力アップ」の推進
- ・各学校の不得意種目に対する目標値・具体策の設定と継続的な取組の推進
- ・校内体力向上推進委員会による体力・運動能力向上のための対策の検討(PDCAサイクル)

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

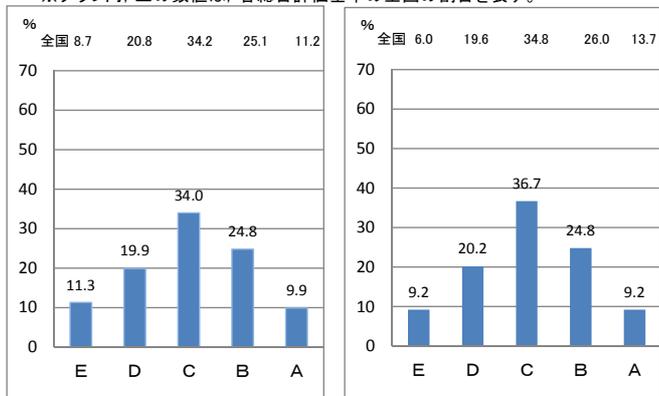
豊於市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

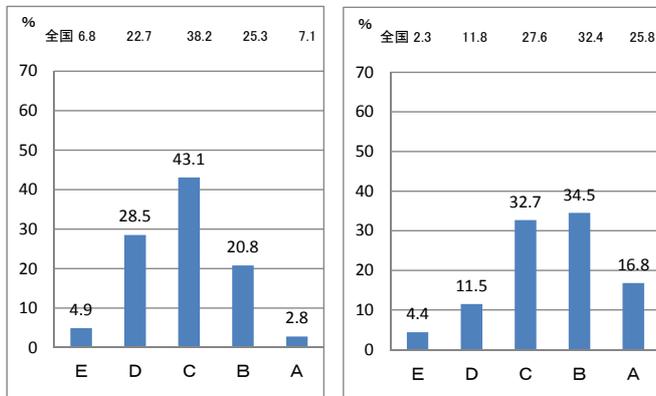
(課題)

- 男女ともに、(A+B)の割合が全国平均より低い。上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。
- 特に、女子は(D+E)の割合が29.4パーセントあり、全国平均との格差が顕著である。体力及び運動能力を高めるための取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

(課題)

- 男女ともに、(A+B)の割合が全国平均より低い。特に男子の割合が著しく低く、全国平均との格差が顕著である。
- 男子は、(D+E)の割合が、33.4パーセントであり、体力及び運動への興味・関心を高める取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

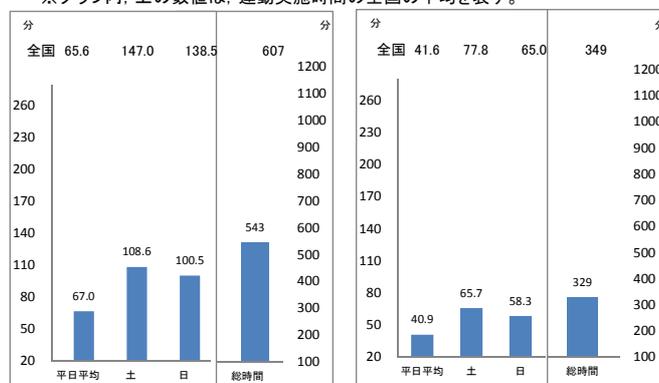
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

(課題)

- 男女ともに、平日、土曜日、日曜日を含め、運動実施時間の総時間数が全国平均と比較して少ない。
- 全国平均と比較して、特に男子の土曜日の運動実施時間に格差が顕著に見られる。

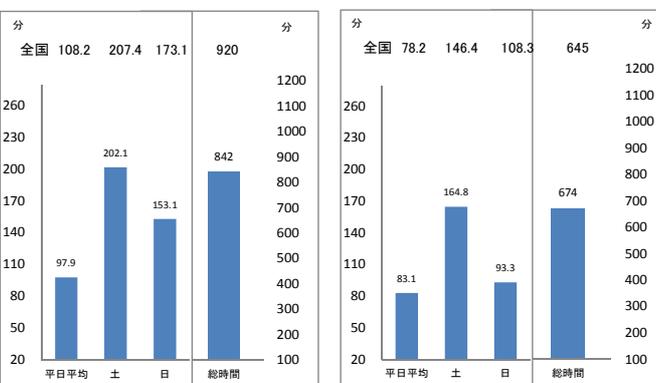
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

(課題)

- 女子の平日及び土曜日の運動実施時間は、全国平均より多い傾向が見られ、1週間の総時間数も上回っている。
- 男子は、平日、土・日曜日とも運動実施時間が全国平均と比較して少ない。

## 【改善策】

【小学校】

- 朝活動等を利用した全校体制でのランニングや縄跳び等の体力増強のための時間の確保

【中学校】

- 運動部活動加入率の向上策や体育の時間における筋力アップ等の時間の確保

【共通, その他】

- 保護者との協力体制のもと「家庭での運動取組デー」を設ける等、意識啓発に努める。
- 体育主任研修会等において運動能力向上のための研修を工夫する。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

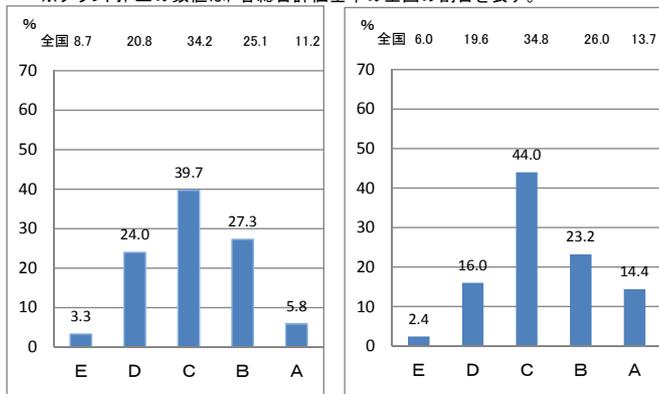
志布志市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

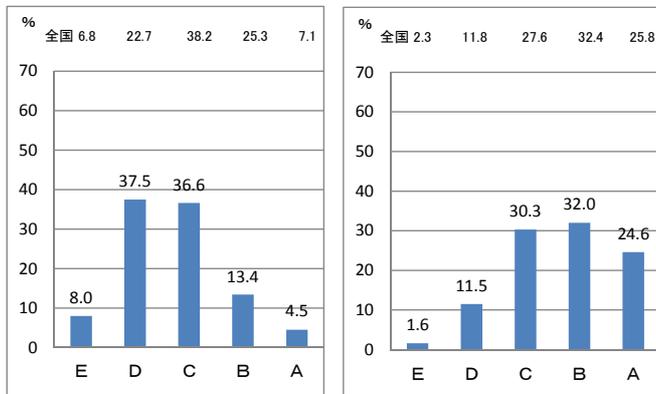
### 〈課題〉

- ・男子はAとEの割合が全国より低い。D, C, Bをそれぞれ上位層へ引き上げるために運動への興味・関心を高める必要がある。
- ・女子はD+Eの割合が全国より低い。D+Eをさらに上位へ引きあげるために、運動が苦手な子どもの興味・関心を引き出す工夫が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男子はD+Eの割合が全国平均よりも高い。D+Eの割合が全体の45%を超えており、体力、運動への興味・関心を高め、体力をつけていくことが必要である。
- ・女子はD, Eの割合が全国平均より低く優れた力を有している。運動を苦手とする子どもへの興味・関心を高める指導が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

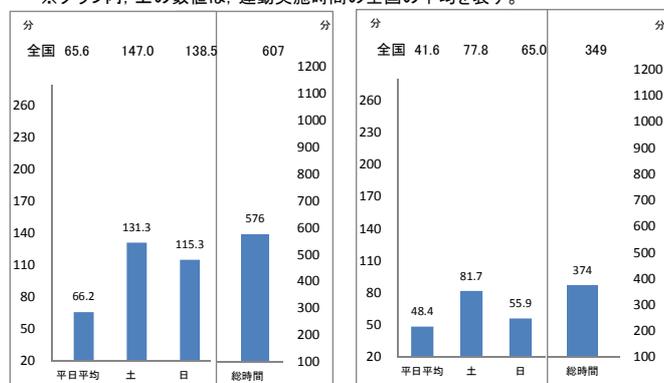
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・平日の運動実施時間については、男子は全国と同程度である。女子は全国より多くの時間が確保されている。
- ・土曜日、日曜日の運動実施時間について、男子はともに全国を大きく下回っている。女子は日曜日の運動時間が大きく下回っている。
- ・1週間の総運動実施時間について、男子は30分以上、下回っている。女子は約30分多く運動時間が確保されている。

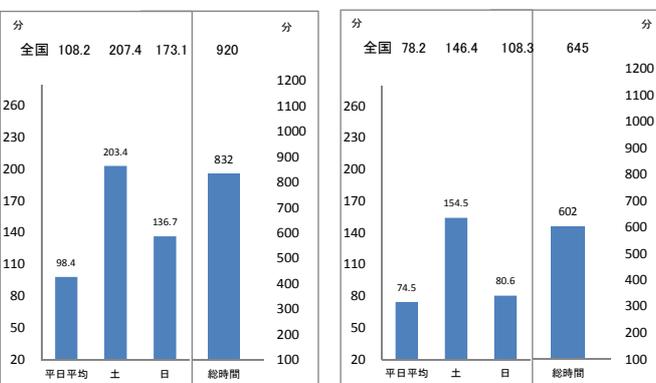
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・平日の運動実施時間については、女子は全国と同程度である。男子は全国より短い。
- ・土曜日の運動実施時間については全国と大差は見られないが、日曜日の運動実施時間が男女ともかなり短い。
- ・1週間の総運動実施時間について、男子は約90分、女子は約40分全国よりも短い。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・「チャレンジかごしま」への取組の推進により、児童の運動実施時間の確保と体力の向上

### 【中学校】

- ・特色ある一校一運動の定着を図り、生徒の運動実施時間の確保と体力の向上

### 【共通、その他】

- ・土曜日や日曜日に、家族が一緒になって運動する取組の推進、土曜体験広場(第3土曜日)における地域での運動活動の充実
- ・体ほぐしの運動や運動遊びを生かし、運動好きな児童生徒を育成する教科体育の充実

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

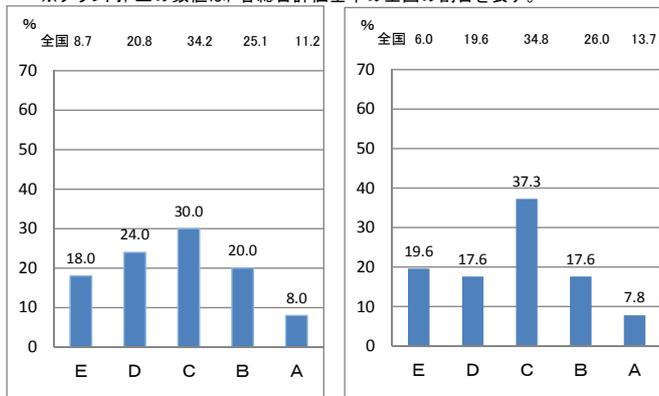
大崎町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

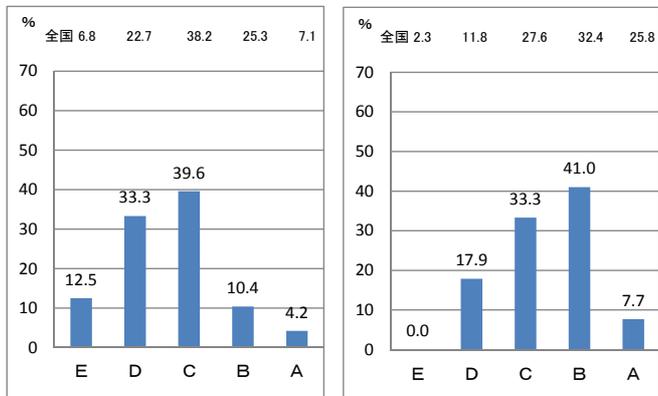
### 〈課題〉

・男女共に、A+Bの割合が大きく全国を下回り、D+Eの割合が大きく上回っていることから、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。  
・特に男子は、D+Eの割合が42%と高く、日常的な運動を促す方策をとる必要性が高い。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈課題〉

・男子は、A+Bの割合が大きく全国を下回り、D+Eの割合が大きく上回っていることから、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。  
・女子も、上位層が少なく下位層が多いという傾向がありはするが、Eの割合が0であり、Bの割合が全国より高いことから、全体的な底上げをすることで大きく改善が期待できる。

## 【小学校 運動実施時間】

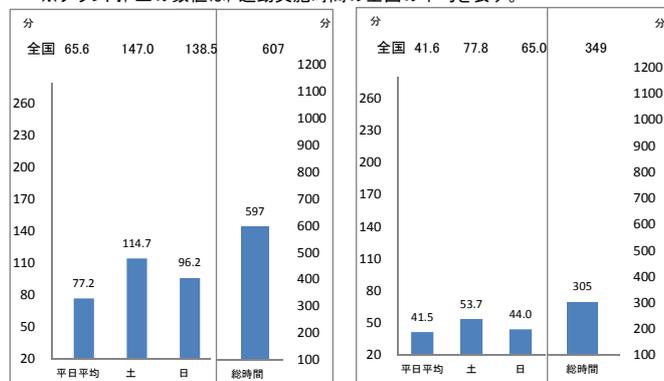
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

・平日の運動時間は全国並みか上回っているが、土日の運動時間は男女共に下回っている。これは、スポーツ少年団活動・組織が衰退していることが大きな要因として考えられる。

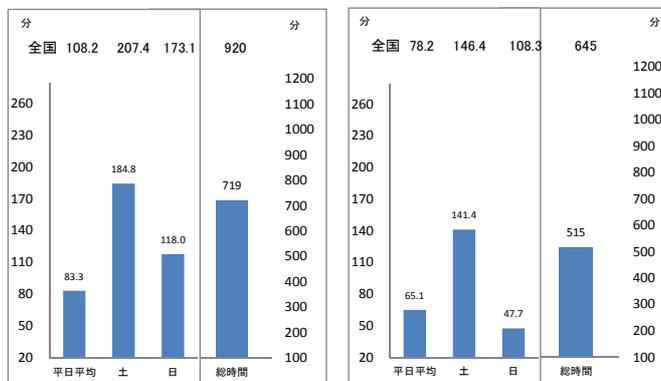
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

・男女共に平日・土日の運動時間が下回っており、1週間の運動実施時間も大きく全国を下回っている。

## 【改善策】

### 【小学校】

・「1校1運動」および「チャレンジかごしま」を一層推進することにより、児童の運動時間の増加を図る。

### 【中学校】

・「教科体育」及び「部活動」に関する研修への積極的な出席を奨励し、自校への環流を図る。

### 【町行政】

・町の体力向上推進校として小学校1校、中学校1校を指定し、教科体育の充実ならびに児童生徒の体力向上を目指す。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

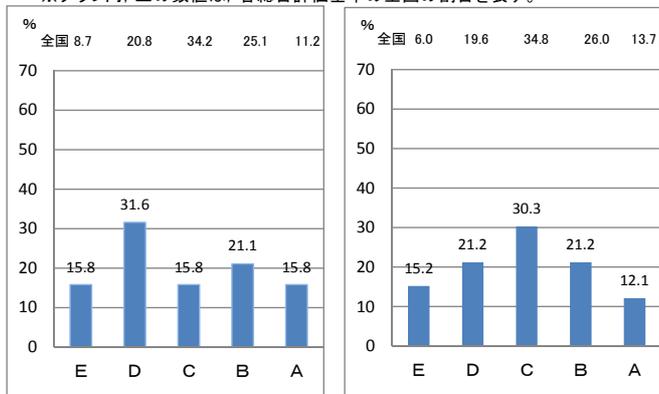
東串良町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

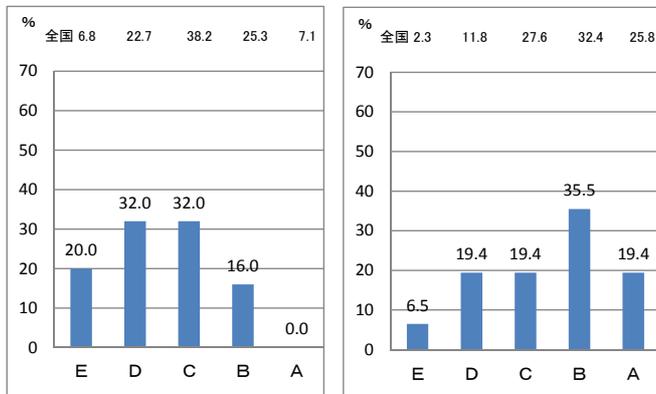
### 〈課題〉

- ・男女ともに、D+Eの割合が全国平均より高く下位層の底上げが必要である。また、男子は、A+Bの割合が全国平均より高いが、女子はその割合が全国平均より低く上位層の引き上げが必要である。
- ・男子は、(D+E)の割合が47.4パーセントもあり、「D、E」の子供の体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男女ともに、A+Bの割合が全国平均より低く、D+Eの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。
- ・男子は、(D+E)の割合が52.0パーセントもあり、「D、E」の子供の体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

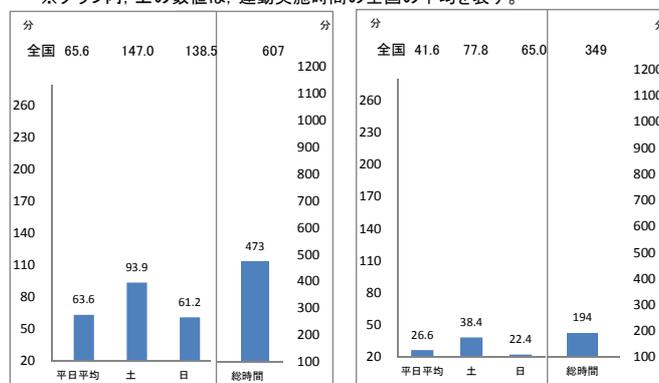
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・平日の運動実施時間について、男子は全国平均と差はないが、女子が短い。
- ・土曜日、日曜日は全国と比較すると短く、その差も大きい。
- ・1週間の総運動実施時間は、男女ともに全国と比較すると短く、その差も大きい。

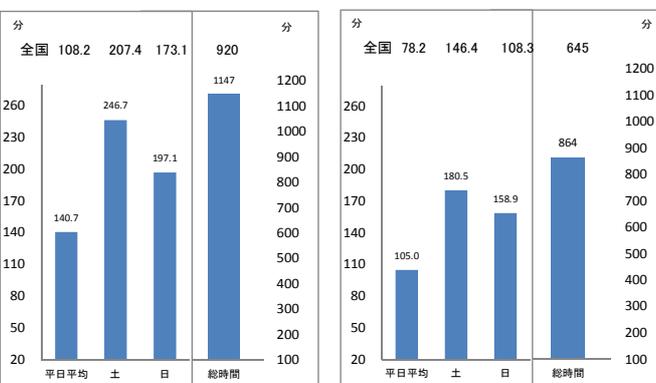
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・男女ともに、平日の運動実施時間については、全国平均より長い。
- ・男女ともに、土曜日、日曜日の運動実施時間についても、全国平均より長い。
- ・1週間の総運動時間は、男女ともに全国と比較すると長く、その差も大きい。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・業間体育や教科体育、「一校一運動」(なわとび等)の推進による、児童の運動実施時間の確保
- ・児童の体力向上を促進する町体育主任研修会(年5回開催)や体育指導法研修会の開催

### 【中学校】

- ・教科体育等における運動量の確保(授業前のランニング、一単位時間における補強運動の実施等)

### 【共通、その他】

- ・県体力向上プログラム、体力ナビ等を活用した研修会の実施及び改善に向けた取組の継続的な実施

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

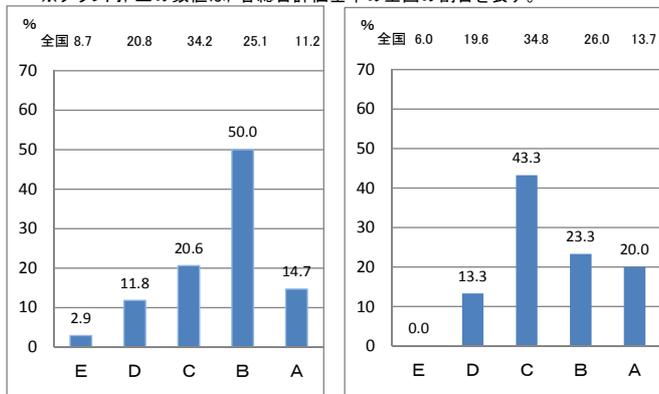
錦江町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

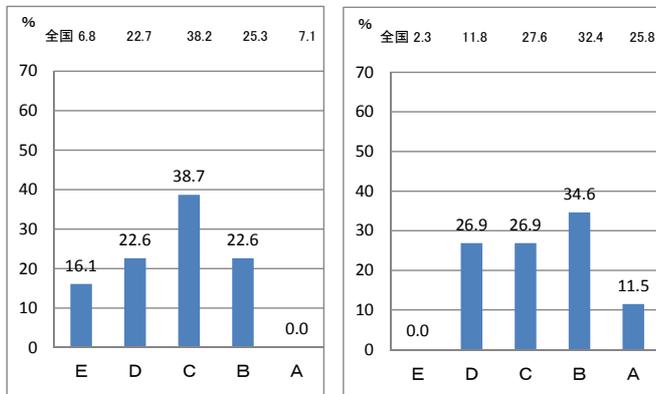
### 〈課題〉

・男女ともに、A+Bの割合が全国平均より高く、D+Eの割合が全国平均より低いことから、全体的には力をつけている状況にあるが、女子の上体起こし、シャトルラン、立ち幅跳びについては全国平均を下回っており、それらに関連する力の育成が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈課題〉

・男女ともに、A+Bの割合が全国平均より低く、D+Eの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。  
・D+Eの割合が男女ともに高く、「D、E」の生徒への体力及び運動への興味・関心を高めた継続的な取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

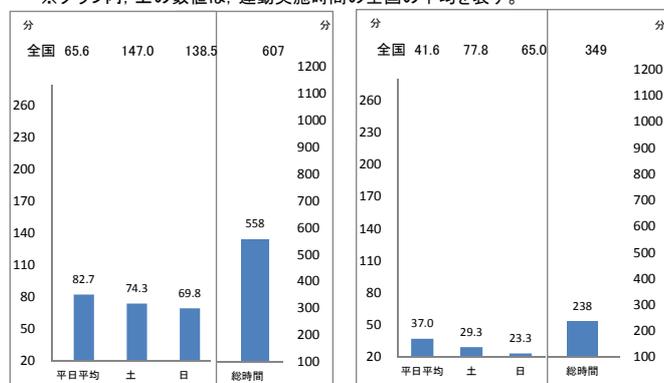
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

・男子は平日の運動実施時間が全国平均とほとんど差がないが、土・日曜日は全国平均の二分の一程度となっている。  
・女子は平日及び土・日曜日のいずれも運動実施時間が全国と比較すると短く、特に土・日曜日では三分の一程度となっている。

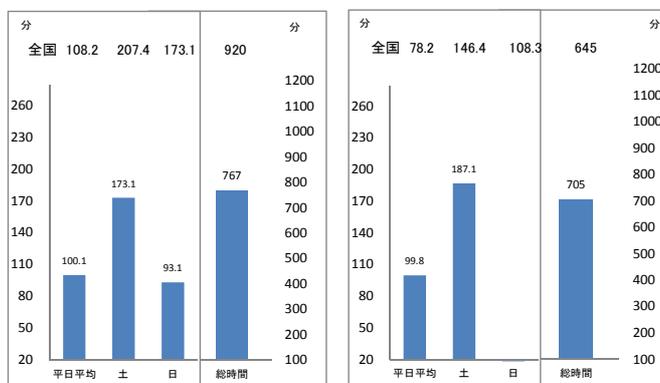
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

・平日については運動実施時間が男子は全国平均とほとんど差がなく、女子はわずかに長いですが、男女ともに日曜日の時間が全国平均よりも短くなっている。  
・男女とも日曜日の過ごし方が課題である。特に、女子の運動に対する取組が必要である。

## 【改善策】

### 【小学校】

・「なかよし体育」等の設定による児童の運動実施時間の確保

### 【中学校】

・教科体育の充実及び運動部・文化部活動の運営・指導の工夫改善

### 【共通、その他】

・「運動は楽しい」と感じる授業づくりや年間を通して継続的に行う一校一運動の設定

・休日における運動やスポーツの推進に関する広報誌を活用した啓発

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

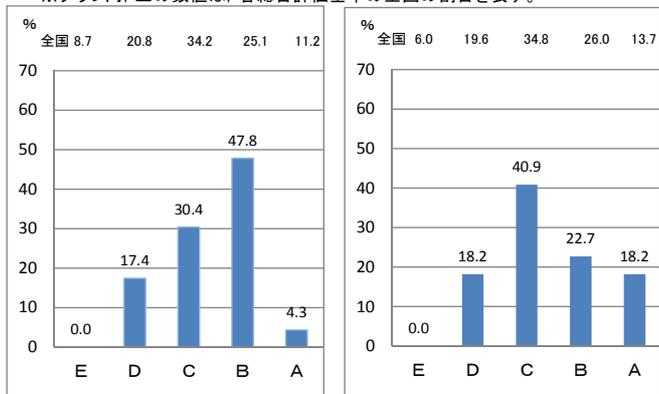
南大隅町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

### 〈課題〉

- ・ 男子は、Aの割合が全国平均より低く、Bの割合が高いため、上位層の引き上げが課題である。
- ・ 女子はCの割合が全国平均より高いことから、体力向上の取組を進めることで上位層への引き上げを図る必要がある。
- ・ 女子におけるCの児童に対して具体的な運動への取組と興味・関心を高める取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

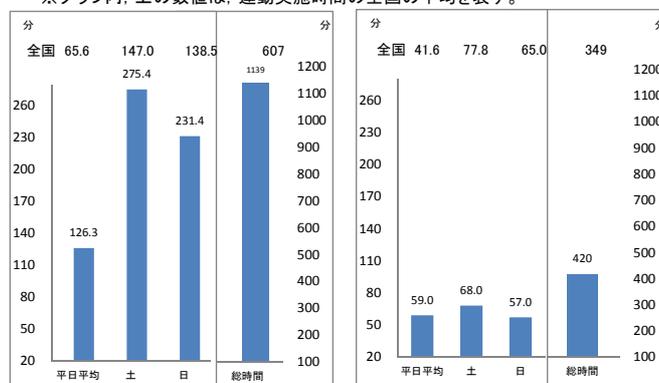
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

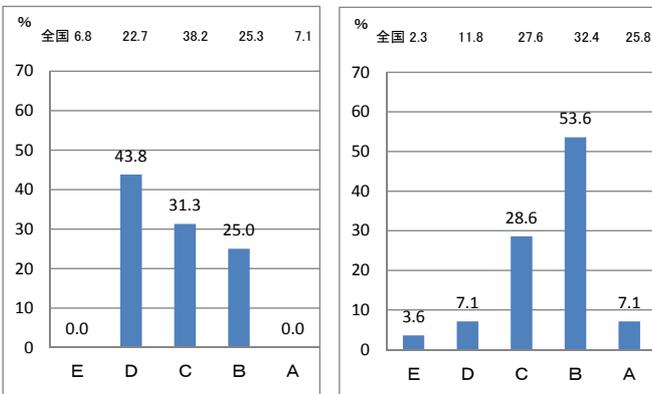
### 〈課題〉

- ・ 小学校男女ともに、平日の運動実施時間については全国平均を上回っている。特に男子は運動時間が多いことが分かった。
- ・ 土曜日、日曜日についても概ね全国平均を上回っているが、女子の日曜日については若干下回っている。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・ 男子C+Dの生徒の体力向上と興味・関心を高める取組、上位層の引き上げが最重要課題である。特にDの生徒については体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。
- ・ 女子は、上位層の引き上げが課題である。特に、Bの生徒の引き上げによりAの生徒の割合を高める必要がある。また、Eの生徒への啓発も必要である。

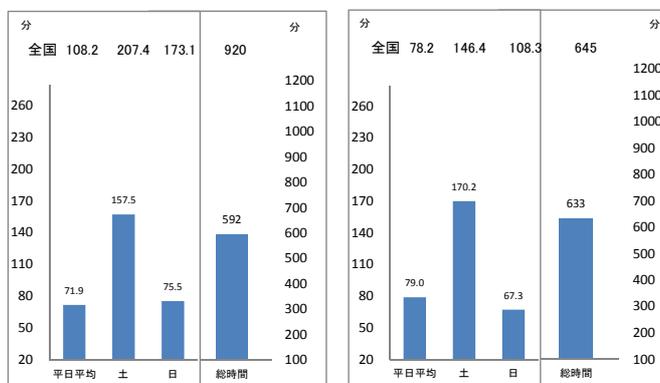
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・ 男子の運動実施時間が平日、土曜日、日曜日ともに全国を下回っていることが課題である。
- ・ 女子は、日曜日の運動実施時間が全国平均を下回っている。また、総時間についても全国平均より短い。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・ 一人一運動の推進と、チャレンジかごしまへの積極的な取組を継続していき、運動への興味・関心をもたせ、体力向上を図る。

### 【中学校】

- ・ 生活習慣の見直しを含めた日常的な運動への取組を啓発していく。
- ・ 部活動をしていない生徒への体力向上策を計画していく。

### 【共通】

- ・ PTAや家庭教育学級での意識啓発をしていく。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

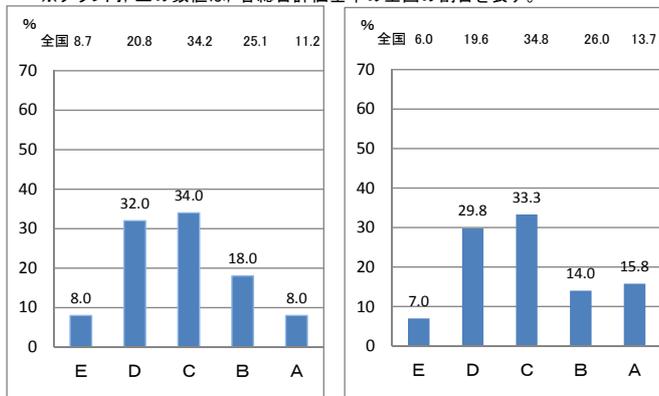
肝付町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

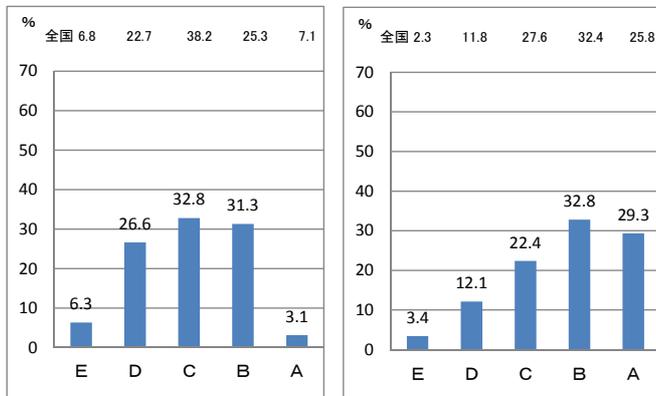
### 〈課題〉

- ・男子はA+Bの割合が全国平均より低く、Dの割合が高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。
- ・女子は、AとDの割合が全国平均より高い。上位層と下位層の二極化が見られ、指導法を工夫する必要がある。
- ・男女とも、C+Dの割合が多く、子供の体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男子は、AとEの割合が全国平均より低く、B+C+Dに9割の生徒が分布している。全体的な体力の引き上げを工夫する必要がある。
- ・女子は、ほぼ全国平均に近い分布である。A+Bの生徒も多く、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

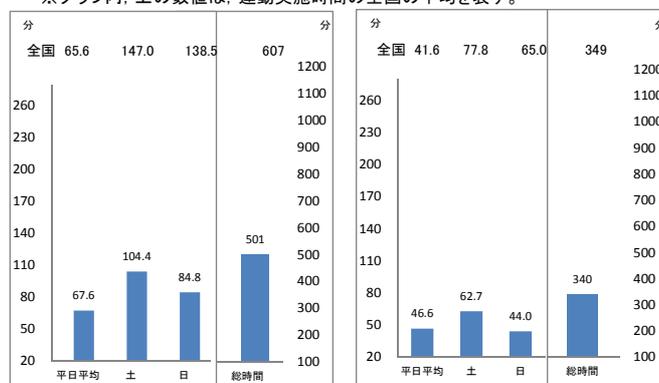
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・男女とも、平日の運動時間は、全国平均をやや上回っている。
- ・土曜日、日曜日は、男女とも全国平均より少ない。特に男子は、50分近く少ない。
- ・1週間の総運動実施時間は、女子は全国平均とほとんど差はないが、男子は100分近く少ない。

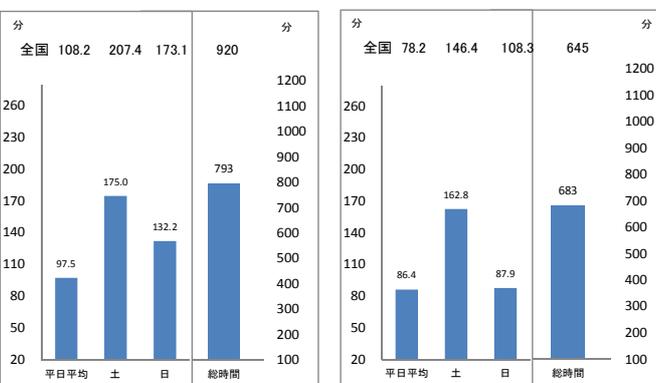
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・平日の運動時間は、男子は全国平均をやや下回っているが、女子はやや上回っている。
- ・土曜日の運動時間は、男子は全国平均をやや下回るが、女子は全国平均をやや上回っている。日曜日は、男女とも下回っている。
- ・1週間の総運動実施時間は、女子は全国平均を40分近く上回っているが、男子は100分以上少ない。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・始業前、放課後における「チャレンジかごしま」、「一校一運動」への取組の推進
- ・スポーツ少年団、スポーツクラブ等への入団・入会指導

### 【中学校】

- ・体力ナビ等を活用した個に応じた体力・運動能力向上プランの作成

### 【共通、その他】

- ・家庭教育学級における親子健康講座(ストレッチ、親子球技、縄跳び運動 等)の開催

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

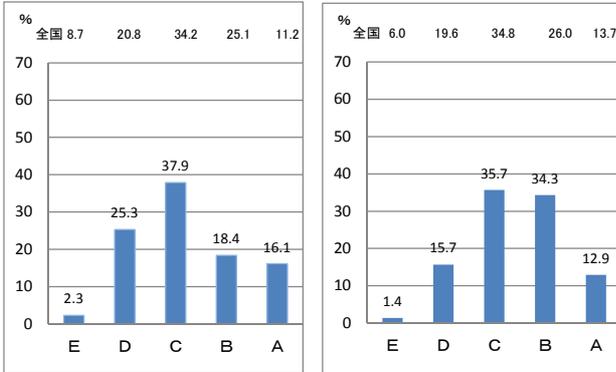
西之表市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点～64点 C: 50点～57点 D: 42点～49点 E: 41点以下

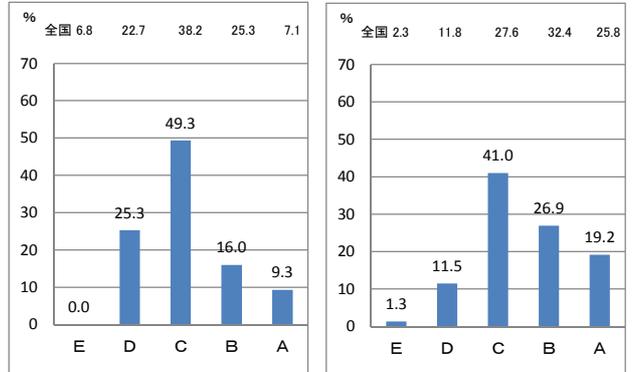
### 〈課題〉

- ・男子については、(A+B)の割合が全国平均より低くなっており、「C」から上位層への引き上げ、「D、E」の底上げが必要である。女子については、上位層及び中間層の割合は全国平均より高くなっている。
- ・男子について、(D+E)の割合が27.6%もあることから、体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A: 57点以上 B: 47点～56点 C: 37点～46点 D: 27点～36点 E: 26点以下

### 〈課題〉

- ・男女ともに、(A+B)の割合が全国平均より低くなっており、「C」から上位層への引き上げ、「D、E」の底上げが必要である。
- ・男子について、Dの割合が25.3%もあることから、体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

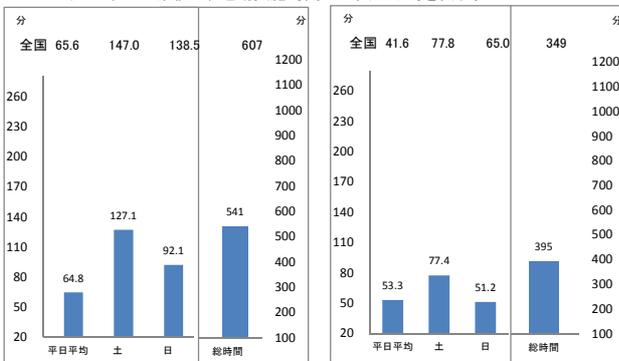
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・平日の運動実施時間については、男子は全国平均とほとんど差がなく、女子は全国平均よりも長くなっている。
- ・土曜日、日曜日の運動実施時間については、男子は全国平均より短く、女子は全国平均とほとんど差がない。
- ・1週間の総運動実施時間については、男子は全国平均より短く、女子は全国平均より長くなっている。

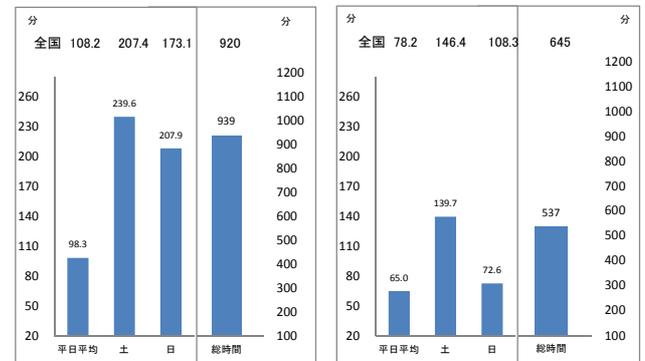
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・平日の運動実施時間については、男女ともに全国平均よりも短くなっている。
- ・土曜日、日曜日の運動実施時間については、男子は全国平均より長く、女子は全国平均より短くなっている。
- ・1週間の総運動実施時間については、男子は全国平均とほとんど差がなく、女子は全国平均より短くなっている。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・「1校1運動」、「体力づくりカード」の実践による児童の運動実施時間の確保

### 【中学校】

- ・体力・運動能力テストの結果をふまえた個人ごとの目標設定

### 【共通、その他】

- ・PTAや家庭教育学級での幼少期における運動経験に関する研修の開催
- ・地域スポーツ大会等への積極的な参加

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

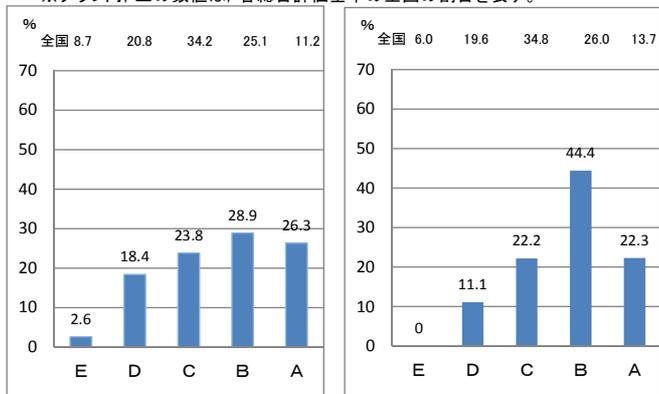
中種子町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

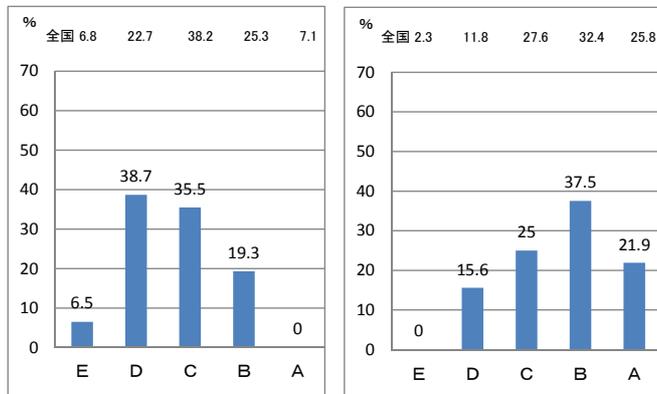
### 〈課題〉

- ・ 男女ともにA+Bの割合が全国平均よりかなり高くなっている。(全国比男子+18.9, 女子+26.9)
- ・ 総合体力点平均値は男子で4ポイント近く、女子で5ポイント余り高い。
- ・ D+Eの割合は男子が女子より10%ほど多い。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・ 男子はA+Bの割合が全国平均よりかなり低くなっている。(全国比-13) 女子のA+Bの割合は全国平均並みである。
- ・ 総合体力点平均値は男子で3ポイント余り低い。女子は全国平均並みである。
- ・ D+Eの割合は男子が女子より30%ほど多い。
- ・ 種目別では男子は「50m走」「立ち幅跳び」が全国平均を上回っており、女子は「上体起こし」「長座体前屈」以外が全国平均を上回っている。

## 【小学校 運動実施時間】

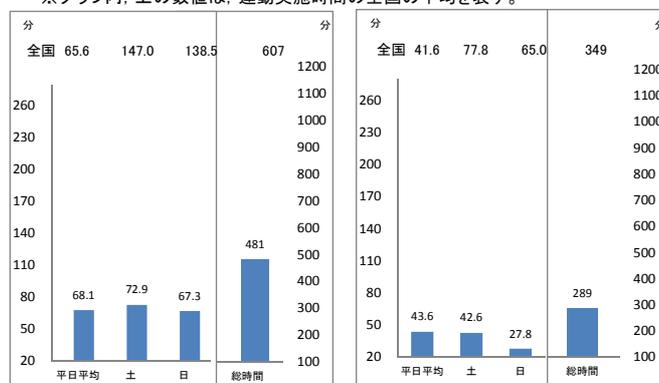
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・ 男女とも平日の平均運動実施時間は全国平均を上回っている。
- ・ 曜日により運動実施時間に大きな差がある。これは少年団活動の練習曜日に関係するものと思われる。
- ・ 平日の運動実施時間は男子が女子より24分ほど長く、全国平均と同様の傾向がある。これはスポーツ少年団加入数の男女差と思われる。
- ・ 土日の運動実施時間は全国平均より男子で145分、女子で72分程短

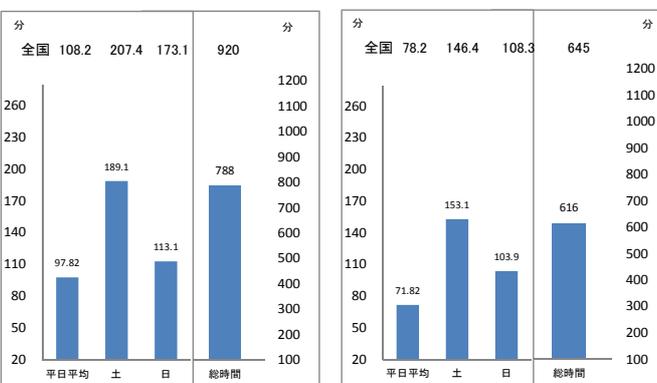
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・ 平日の平均運動時間は全国平均より男子で10分程、女子で6分程短い。
- ・ 曜日による運動実施時間の差はほとんどない。
- ・ 平日の運動実施時間は男子が女子より25分程長く、全国平均と同様の傾向がある。これは文化系部活動へ所属する女子が多いことに関係するものと思われる。
- ・ 土日の運動実施時間は全国平均より男子は78分程短い、女子はほぼ平均並み。総時間も全国平均より男子で132分、女子で29分程短い。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・ 体育の授業を充実し、運動することの楽しさや喜びを味わわせることを通して、自ら進んで運動に取り組もうとする児童を育成する。
- ・ 「一校一運動」のさらなる推進、「かごしまチャレンジ」への積極的な取組を進める。

### 【中学校】

- ・ 運動部活動の適切な運営・指導に關しての教職員の指導力の向上を図る。

### 【共通、その他】

- ・ 「太陽の里中央運動公園」各施設を核としたスポーツイベントの開催の促進、周知を図る。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

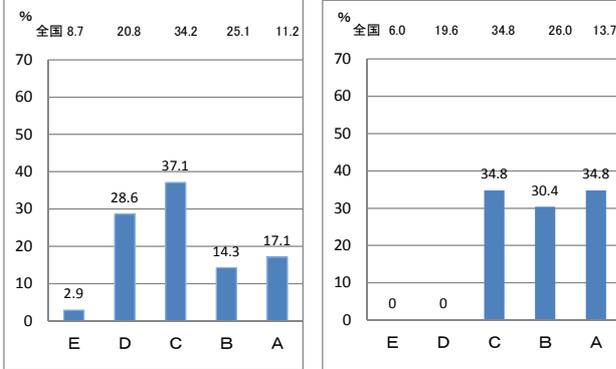
南種子町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点～64点 C: 50点～57点 D: 42点～49点 E: 41点以下

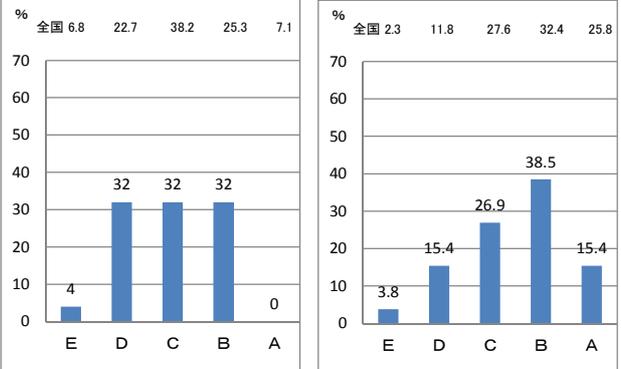
### 〈課題〉

・男子は、A+B上位層の割合が全国平均より低い。D+Eの割合は、全国平均より高く、二極化傾向にある。中位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。  
・女子は、A+B上位層の割合が65.2%で体力・運動能力に関して高いレベルとなっている。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A: 57点以上 B: 47点～56点 C: 37点～46点 D: 27点～36点 E: 26点以下

### 〈課題〉

・男子は、A+B上位層の割合は全国平均とほぼ同じあるが、Aに位置する生徒はいない。D+Eの割合が全国平均より高く、二極化傾向にある。  
・女子は、A+B上位層の割合は全国平均より低く、D+Eの下位層の割合が高い。下位層の底上げが課題である。

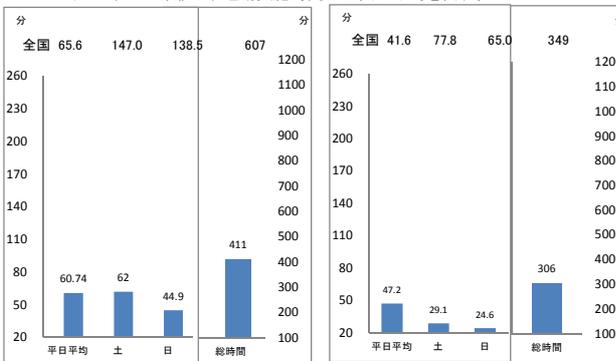
## 【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

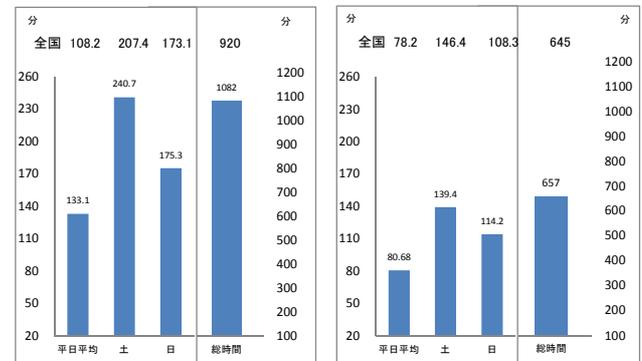
・男子は、平日の運動実施時間については、全国平均とほとんど差がない。土曜日・日曜日が、全国と比較すると差が大きいため、1週間の総運動実施時間も全国と比較すると差が大きくなる。  
・女子は、平日の運動実施時間については、全国平均よりわずかに長い。土曜日・日曜日が、全国と比較すると差が大きいため、1週間の総運動実施時間も全国と比較すると差が大きくなる。

## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

・男子は、平日の運動実施時間については、全国平均より長い。土曜日・日曜日についても、全国と比較すると長く、1週間の総運動実施時間も全国と比較すると長い。  
・女子は、平日の運動実施時間については、全国平均とほぼ同じである。土曜日・日曜日も、全国と比較してもほぼ同じで、1週間の総運動実施時間も全国とほぼ同じである。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・1単位時間において、しっかり汗をかく運動量の確保と体力・運動能力調査結果を意識した補強運動の実施
- ・思い切り運動できる場の工夫

### 【中学校】

- ・総合体育センター等の開催する研修会等への積極的な参加(運動の質を向上)
- ・部活動時における体力・運動能力調査結果を意識したウォーミングアップ等の工夫

### 【共通:一般】

- ・地域のスポーツイベントやスポーツ施設等の利用等について広報誌やホームページ等を活用した情報提供
- ・総合型地域スポーツクラブ「スポーツクラブ宙太くん」との連携

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力合総合評価、運動実施時間における課題と対策)

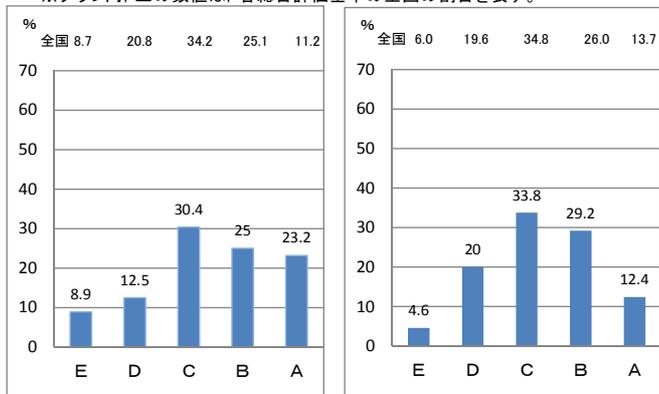
屋久島町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

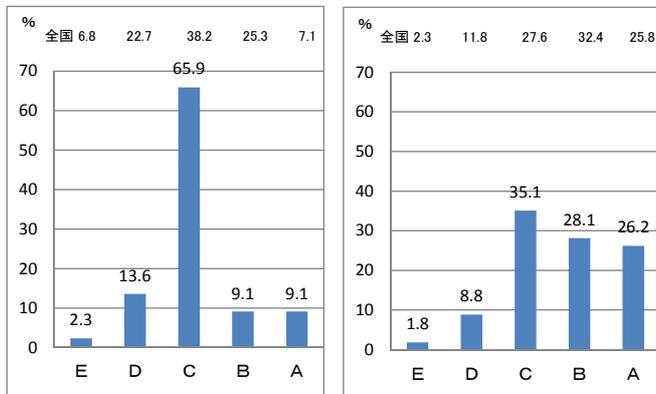
### 〈課題〉

- ・男子はAの割合が全国的に高く、比較的能力の高い集団と言える。種目別には上体起こしとソフトボール投げが全国平均を上回っている。
- ・女子はほぼ全国平均並みの分布になっている。種目別にも全国平均とほぼ同じであるが、20mシャトルランが若干平均を下回っている。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男子はB・D・Eの割合が全国平均より低く、Cの割合が非常に高い。Cの生徒の体力向上を図り、上位層への引き上げが必要である。
- ・女子はD+Eの割合が全国平均より低く、全体的に平均以上の能力がある。種目別には持久走と20mシャトルランが全国平均を下回るため、全身持久力を高める工夫が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

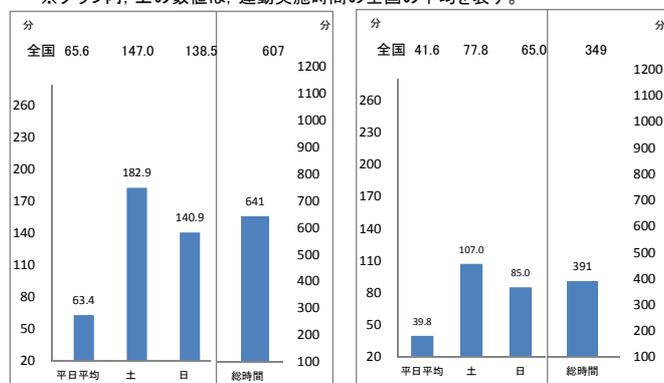
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・平日の運動実施時間は、男女とも全国平均より若干短い。
- ・土曜日、日曜日の運動実施時間は、男女とも全国平均を大きく上回っている。特に土曜日の運動時間が長い。多くの子供たちが、スポーツ少年団等に加入している影響が考えられる。
- ・1週間の総運動時間は、女子の運動時間は短いものの、全国平均と比べると、男女とも上回っている。

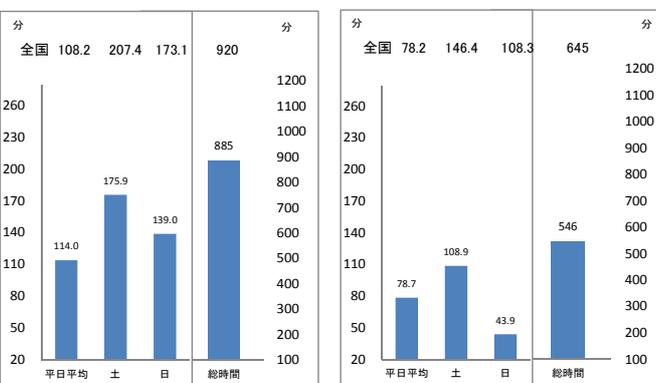
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・平日の運動実施時間は、男女とも全国平均より若干長い。
- ・休日の運動実施時間は、男女ともに全国平均を下回っており、男子の日曜日は35分、女子の土曜日は40分、日曜日は65分も短い。
- ・1週間の総運動時間は、男女とも全国平均を下回っているが、特に女子は約100分も短い。女子の休日の運動習慣を付ける取組の工夫が必要である。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・教科体育におけるウォーミングアップ時に、持久走の時間の確保

### 【中学校】

- ・文化系部活動所属者と部活動未所属者の運動習慣・時間確保のための取組の強化

### 【共通、その他】

- ・幼少期から運動習慣を付けるためのコミュニティスポーツクラブにおけるキッズクラブの活動継続、及び広報活動
- ・業間体育や朝の活動、放課後等の時間の取組の充実 ・家庭教育学級などにおける親子による運動習慣定着のための取組の強化

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

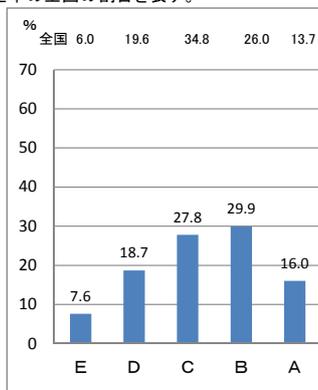
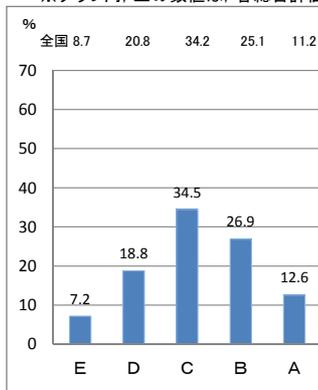
奄美市 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

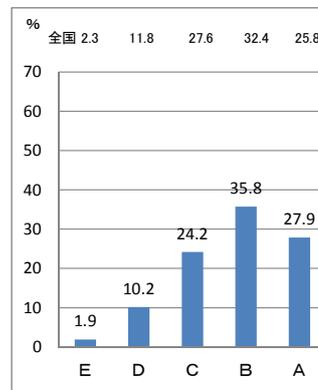
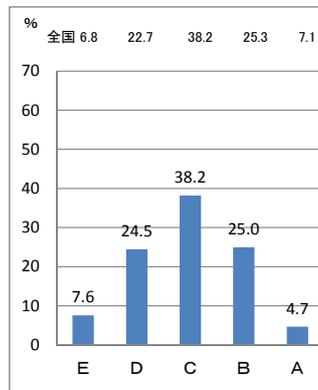
※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男女共に、A+Bの割合は全国平均より多いが、女子においてはD+Eの割合が全国平均よりも多い。女子の下位層のレベルアップが必要である。
- ・体力要素別に見ると、男女共に長座体前屈と反復横跳びが全国平均を下回っている。柔軟性と敏捷性を向上させる取組が必要である。

### 〈課題〉

- ・女子においてはA+Bの割合が全国平均より多く、D+Eの割合が少ない。全般的に良好な分布である。
- ・男子は女子と逆の傾向が見られ、特にD+Eの割合が32.1%(約70人)と高く、下位層に着目した指導が必要である。
- ・体力要素別に見ると、男女共に筋力と柔軟性が全国平均より低値であり、改善に向けた取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

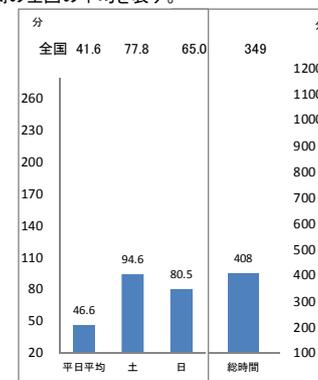
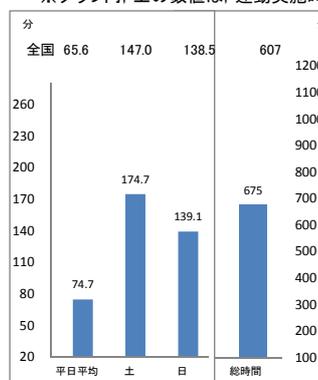
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・平日、休日の運動実施時間は、男女共に、全国平均を上回っている。
- ・女子の平日の運動実施時間は、全国平均とあまり差がない。運動実施時間が少ない女子の存在が推測される。

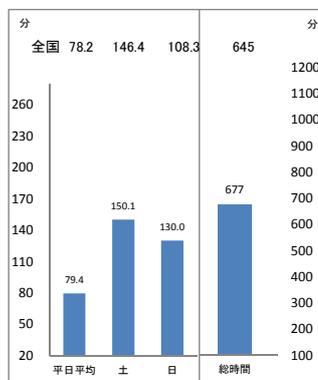
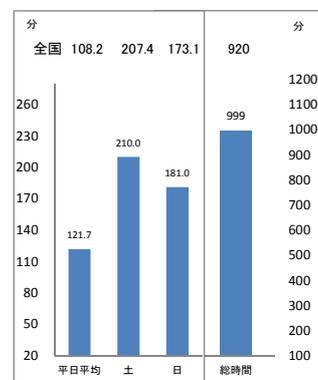
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・男女共に、全国平均を上回っている。男子においては、運動実施時間が全国値より多いにもかかわらず、体力・運動能力の数値に反映されていない。実施している運動の内容について検証する必要がある。

## 【改善策】

### 【共通】

- ・年2回の体力・運動能力、運動習慣等調査の実施によるPDCAサイクルの機能化(本市小学校4年生~中学校3年生の悉皆調査)
- ・体力向上推進会議(6月・2月)・夏季体育指導研修会の充実による指導力の向上
- ・「あまみっ子運動遊び・体育教室」指導員派遣事業の実施(平成27年度~, 指導員の派遣及び備品の貸出し等)
- ・「奄美の子どものための『運動遊び』カタログ」(冊子版・DVD版)の配布
- 【幼・保・小学校低学年】
- ・「運動遊び」教室の定期的実施(月2回程度の指導員派遣)
- ・「運動遊び」指導者講習会及び「親子運動遊び教室」の開催

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

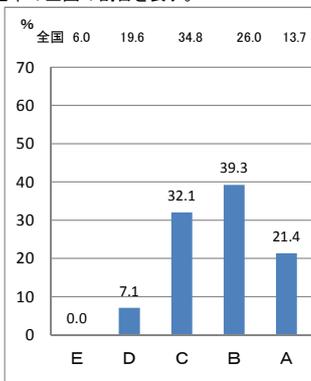
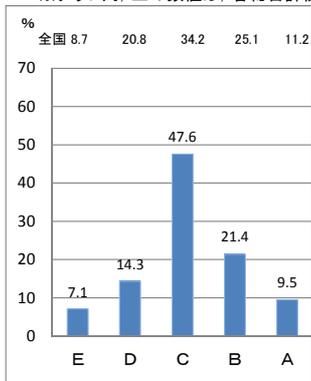
瀬戸内町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

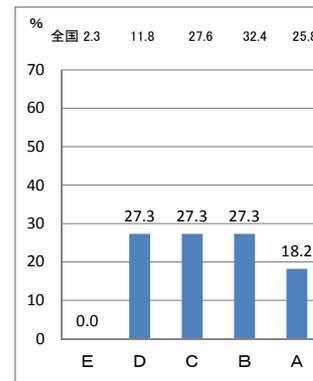
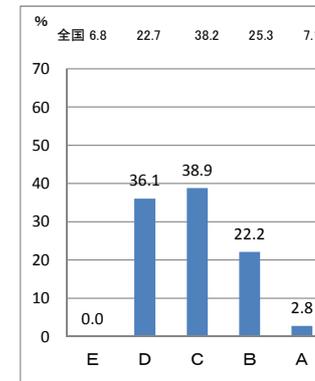
※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・女子についてはA+Bの中位~上位層の割合が全校平均より高いが、男子はA+Bの割合が全国平均より低く、中位~上位層の引上げが必要である。
- ・小学校の発達段階においては最低限の総合的な体力が必要であると考えられることから、男子のD・Eの下位層の児童の着実な体力向上の取組が必要である。

### 〈課題〉

- ・男女ともに、A+Bの割合が全国平均より低く、D+Eの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引上げと中位~下位層の底上げが必要である。
- ・男女ともにEに属する生徒はいないが、Dの割合がかなり高くなっており、Dの生徒の着実な体力向上の取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

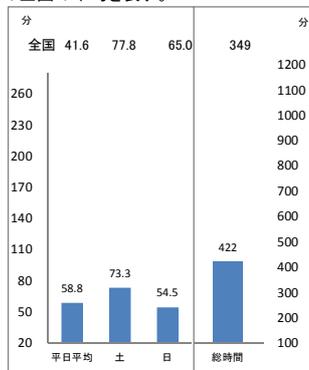
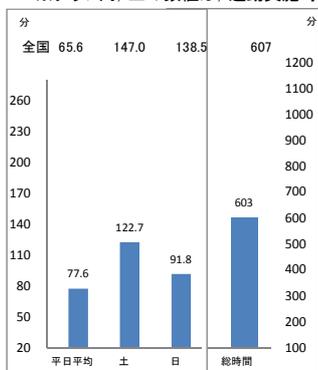
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・男子は、総運動実施時間では全国平均とほとんど差がないが、休日への運動時間が少ない。特に日曜日の運動時間が全国平均と比べかなり少なく、日曜日における運動時間確保が課題である。
- ・女子は平日の運動時間が全国平均と比べ多く、総運動実施時間でも全国平均よりかなり多くなっている。男子同様、日曜日の運動時間が全国平均と比べ少ない。日曜日の運動時間確保が課題である。

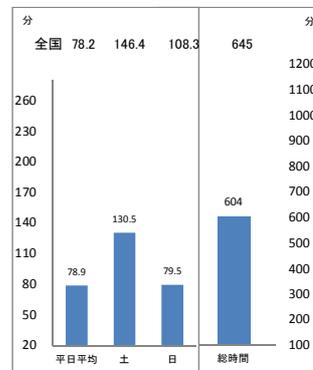
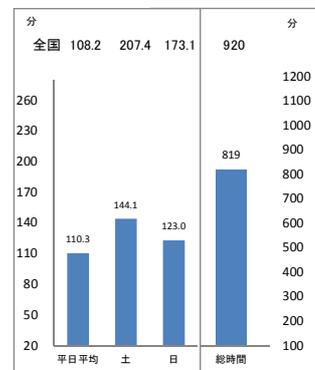
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・男子は、総運動実施時間が全国平均と比べるとかなり少ない。特に、全国平均と比べて、土曜日、日曜日の運動時間の短さが顕著であり、土曜日、日曜日における運動時間確保が課題である。
- ・女子は、総運動実施時間について全国平均と比べて短い。また、土曜日、日曜日の運動時間が全国平均と比べて短い。特に、日曜日の運動時間が短く、日曜日の運動時間確保が課題である。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・楽しみながら体力づくりのできる「チャレンジかごしま」の積極的推進(運動への興味・関心、総合的体力づくり、運動実施時間の拡充等)

### 【中学校】

- ・一校一運動や体力づくりタイム等の積極的推進(運動部活動所属以外生徒の運動への興味・関心、総合的体力づくり、運動実施時間の拡充等)

### 【共通、その他】

- ・体育に関する研修会、体育の校内研修における指導等の積極的推進(教科体育の充実、補強運動による重点的体力づくり、運動時間確保等)
- ・PTAを巻き込んだ「休日や家庭におけるスポーツ・運動」活動の積極的な推進(各校PTA活動重点項目に設定、町P連活動重点項目に設定等)
- ・社会教育課と連携した小中学生対象のスポーツ・運動的行事の積極的推進

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

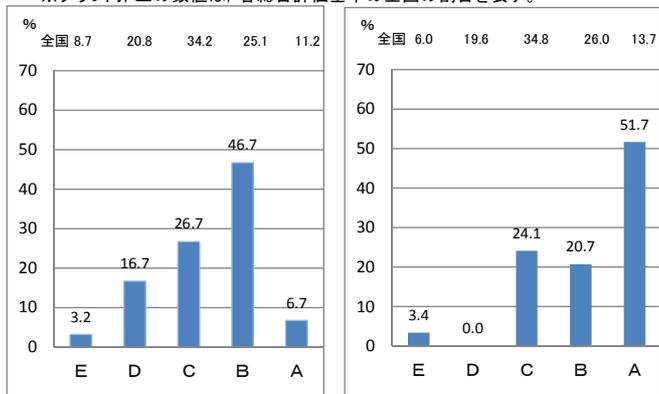
龍郷町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

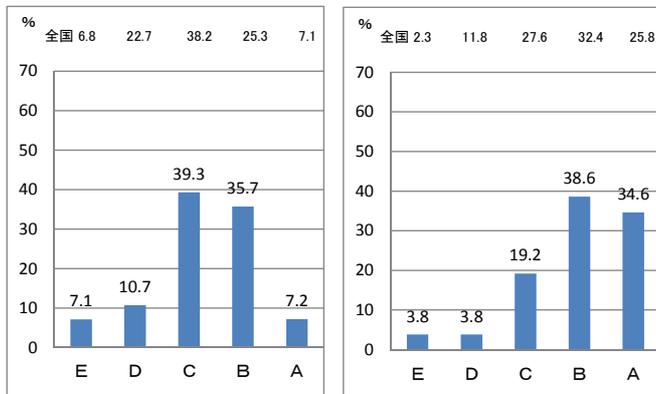
### 〈課題〉

- ・男女ともに、A+Bの割合は全国平均を上回っているが、男子はA、女子はBの割合が全国平均より低くなっており、中位層の引き上げが必要である。
- ・男女ともに、「D、E」の割合は低いものの、今後も引き続き体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男女ともに、「A、B」の割合が全国平均より高くなっているが、Eの割合が全国平均より高くなっており、Eの生徒の体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

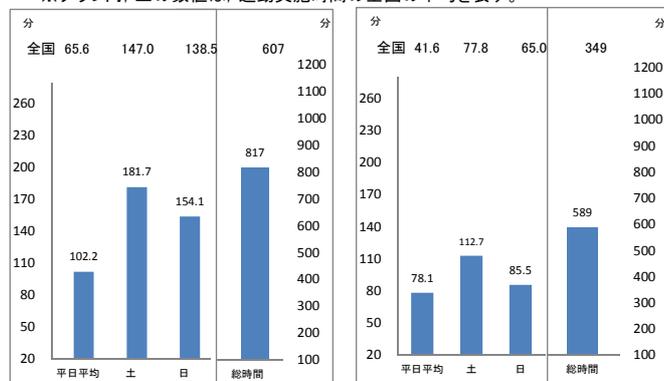
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・小学校男女ともに、全国平均よりそれぞれ1日平均30分程度長くなっており、運動の習慣が定着しつつあるが、二極化が見られることを十分に認識しておく必要がある。

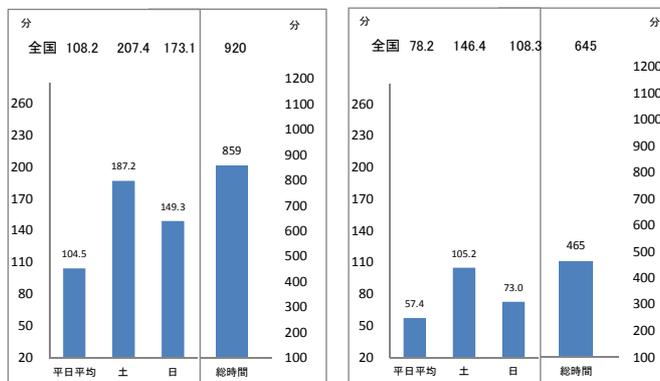
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・男子は平日の運動実施時間については、全国平均とほとんど差がないが、女子は20分程度短い。
- ・土曜日、日曜日は全国と比較すると短く、特に、女子においては運動時間の差が大きい。
- ・1週間の総運動時間は、全国と比較すると短く、特に、女子においては大きな差が見られる。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・二極化を意識した体育科学習指導の充実及び運動実施時間の確保

### 【中学校】

- ・十分な運動量を保障した授業の充実

### 【共通, その他】

- ・小中連携(教科体育における円滑な接続)の充実
- ・授業における「主運動の基礎となる感覚や類似した動きを経験させるための時間」の意図的設定

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

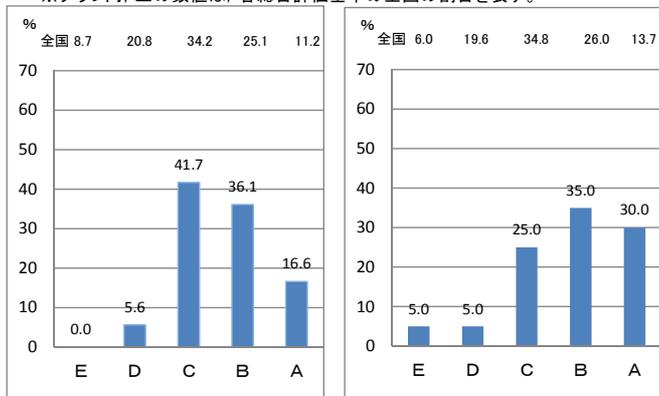
喜界町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

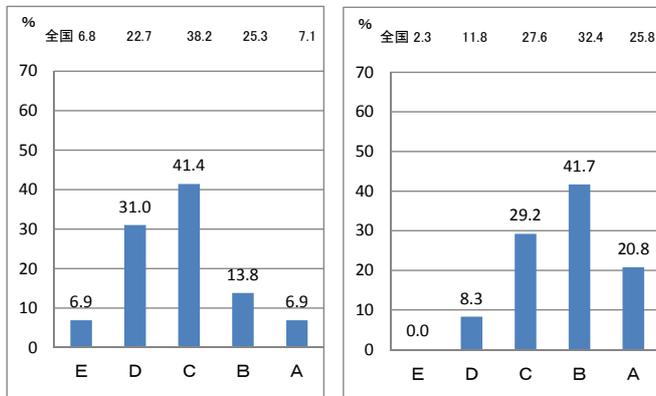
### 〈課題〉

- ・小学校においては、全国と比較して、男女共にABの割合が高くなっている。特に女子は全国の2倍以上高くなっている。更に運動能力の向上を図ることでABの割合を高めることができると考えられる。
- ・体育学習を中心に継続的に体力づくりに努めさせるとともに、一人一人の実態を把握し、個に応じた目標設定と達成状況の定期的な確認を行うなど具体的な働きかけを行う必要がある。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・中学校においては、男子ではCDの割合が全国よりも高くなっている。女子は、全国と比較してBCの割合が高く、Dの割合が低くなっている。男子と比較しても女子の方が全体的によい結果といえる。
- ・男子は特にDの割合が高いので、原因を明らかにして、少しでも上の段階に移行できるように働きかけていく必要がある。また、ABの割合を増やしていきけるように働きかけていく必要がある。

## 【小学校 運動実施時間】

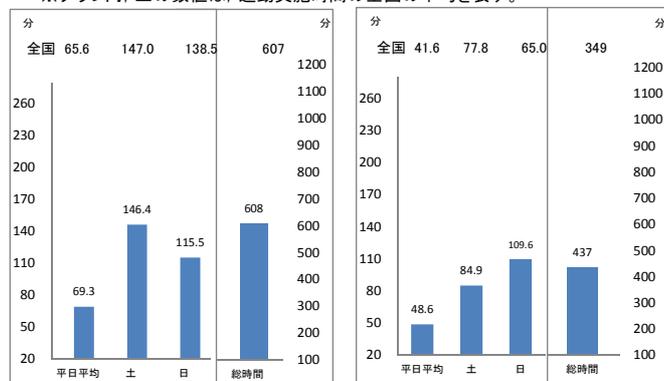
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・小学校男子は、ほぼ全国平均なみの運動実施時間である。小学校女子については、全国平均を超える運動実施時間である。特に日曜日の運動時間が全国と比較して長くなっている。
- ・少年団等に所属している児童が多く、その練習に参加することで運動時間が確保されていると考えられる。一方、男子は日曜日の運動時間が全国と比較してやや短くなっている。学習時間や家族で過ごす時間等とのバランスを考慮しながら、運動時間の確保を図っていく必要がある。

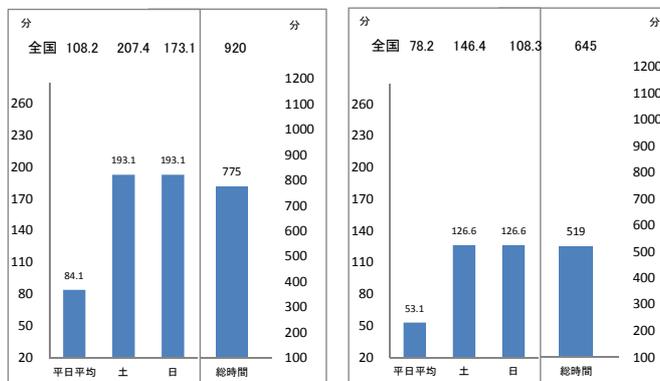
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・中学校においては、男女共に全国と比較して運動実施総時間が短くなっている。平日の運動時間が短いのは、水曜日はノー部活動デーが設定されているためと考えられる。
- ・女子においては、運動時間が極端に短い生徒も多いなど個人差が大きいという傾向も見られる。運動時間の確保に向けた具体的な働きかけが必要である。

## 【改善策】

### 【共通】

- ・校内研修等で全体的な傾向をつかませるとともに、個の実態を的確に把握するなど分析を行い、今後の対策を協議させる。
- ・教科体育の充実を図らせるとともに、年間を通して重点的に継続して取り組む運動について共通理解・共通実践を図らせる。
- ・児童生徒に各自の目標を立てさせ、達成状況の定期的な確認を行うなどとして、主体的に運動に取り組ませる。
- ・児童生徒の体力の実態についてPTA等で保護者に説明し、家庭と連携した体力向上の取組を推進させる。
- ・少年団活動や部活動など、学習時間とのバランスを考慮しながら、放課後や休日の運動時間の確保に努めさせる。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

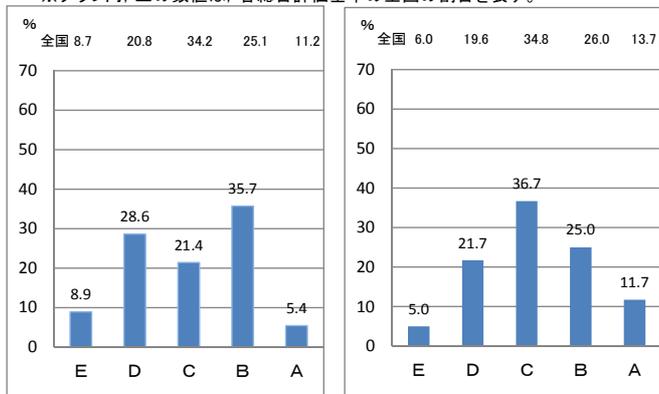
徳之島町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

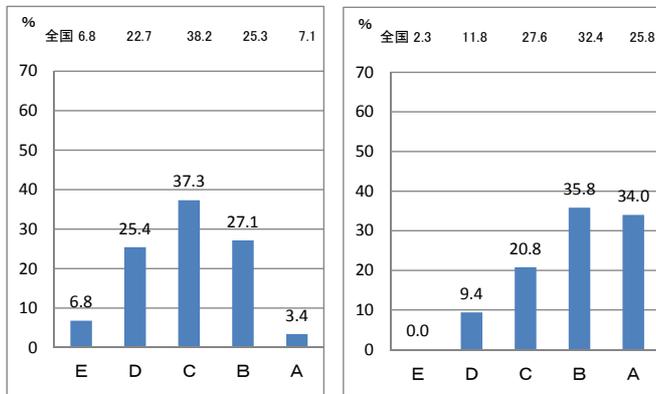
### 〈課題〉

- ・男子はA+Bの割合が全国平均より高いが、D+Eの割合も高く、上位層と下位層の二極化がみられる。下位層引き上げが必要である。
- ・女子はほぼ全国平均並みである。
- ・男子は、D+Eの割合が37.5%もあり、「D、E」の子どもの体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男子はほぼ全国平均並みである。A+Bの割合が全国平均よりも若干低く、D+Eの割合が高くなっている。
- ・女子はA+Bの割合が69.8%もあり、全国平均よりも高い。
- ・男子は、D+Eの割合が32.2%もあり、「D、E」の子どもの体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

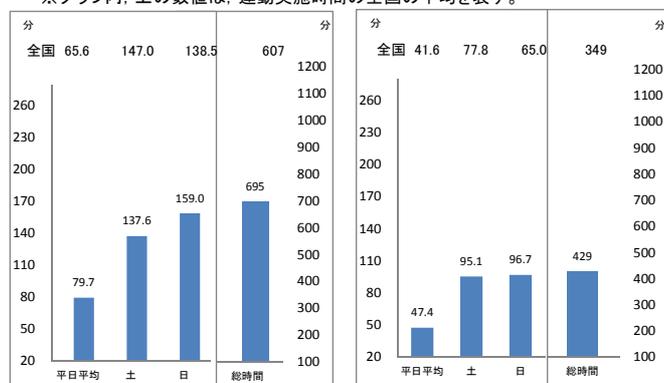
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・小学校男女ともに、平日の運動実施時間については、全国平均より高くなっている。
- ・土曜日、日曜日は全国と比較すると男子は全国平均並みであるが、女子は高くなっている。
- ・1週間の総運動実施時間は全国と比較すると、男女ともに長くなっている。

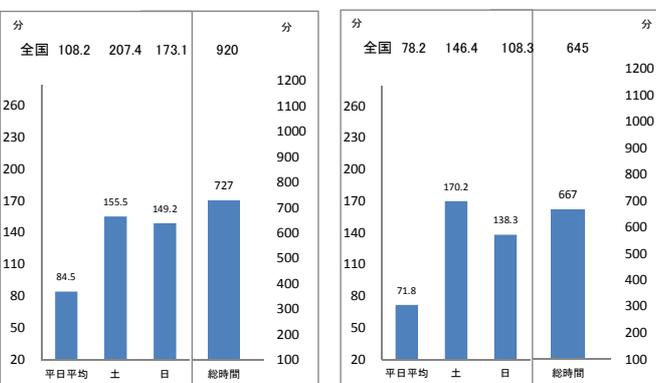
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・平日の運動実施時間については、全国平均より男子は短く、女子はほとんど差がない。
- ・土曜日、日曜日は全国と比較すると男子は短く、女子は長い。土曜日において男子は50分以上短い。
- ・1週間の総運動実施時間は全国と比較すると、男子は200分近く短く、女子は20分長い。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・チャレンジかごしま積極的な活用、児童の運動実施時間の確保。

### 【中学校】

- ・運動部活動の運営指導の工夫に関する研修会の開催

### 【共通】

- ・PTAや家庭教育学級での幼少期における運動経験に関する研修の開催
- ・体育部会の充実、授業を通じた研修の推進

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

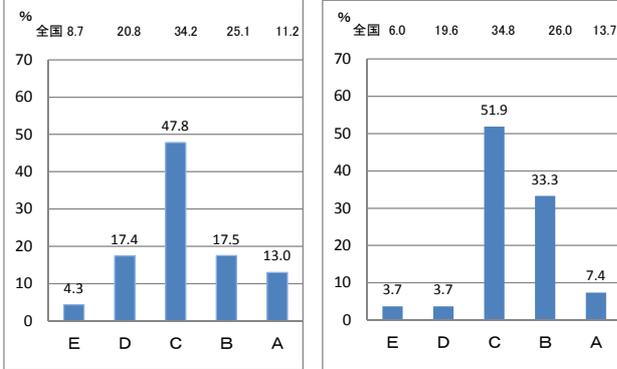
天城町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A: 65点以上 B: 58点～64点 C: 50点～57点 D: 42点～49点 E: 41点以下

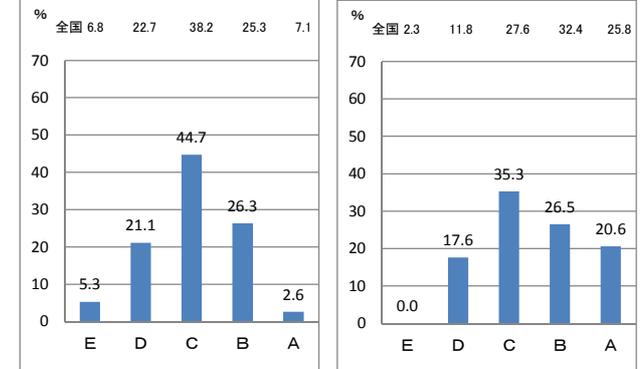
### 〈課題〉

- ・男子は、A+B, D+Eともに全国平均を下回っている結果であった。上位層への引き上げが必要である。
- ・女子は、A+Bの割合が全国平均よりも高く、D+Eの割合が全国平均よりも高いことから、体力の総合評価は高いと思われる。
- ・運動に対する、興味・関心を高めるための取組を行う必要がある。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A: 57点以上 B: 47点～56点 C: 37点～46点 D: 27点～36点 E: 26点以下

### 〈課題〉

- ・男子は、A+B, D+Eともに全国平均を下回っている結果であった。上位層への引き上げが必要である。
- ・女子は、A+Bの割合が全国平均よりも低く、D+Eの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

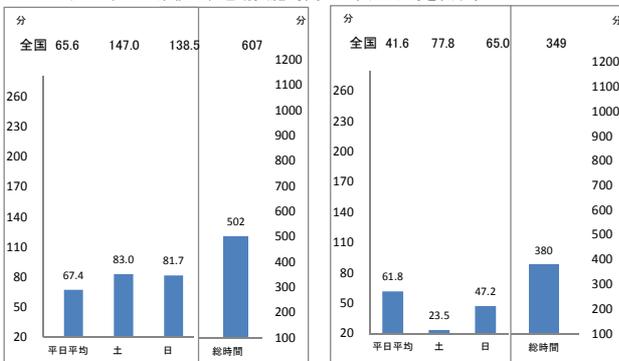
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・小学校男女ともに、平日の運動実施時間については、全国平均を上回っているが、土曜日、日曜日は全国平均と比較すると短く、特に、男子において週末の運動時間が短い。
- ・1週間の総運動実施時間は、全国と比較すると男子は短く、女子はわずかに長い。

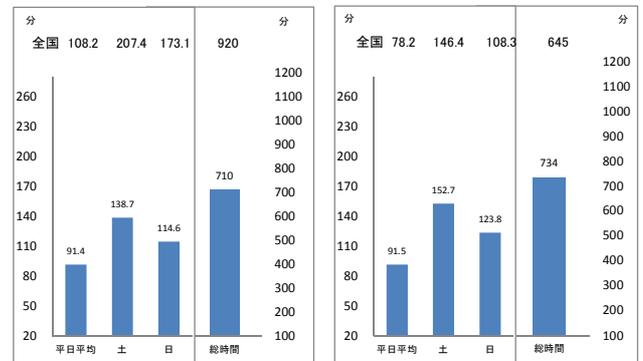
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・中学校男女ともに、平日の運動時間については、全国平均と比較すると女子は長い男子は短く、土曜日、日曜日はその運動時間の全国平均との差が顕著である。
- ・1週間の総運動時間は、全国平均と比較すると男子は短く、女子は長い。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・「チャレンジかごしま」への取組を充実させることにより、児童の運動時間の確保

### 【中学校】

- ・運動部活動の運営の推進

### 【共通・その他】

- ・体育の時間において「補強運動」を位置付ける。
- ・体育・保健体育科の研究授業を実施するなど研修の充実を図る。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

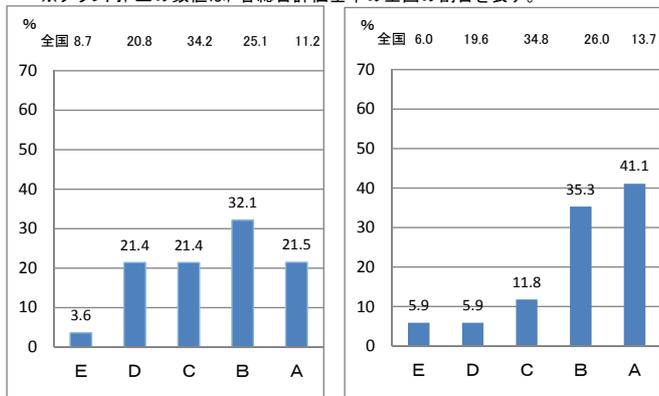
伊仙町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点～64点 C:50点～57点 D:42点～49点 E:41点以下

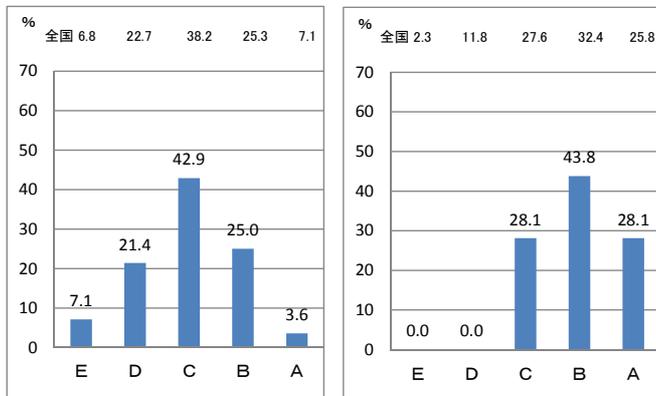
### 〈課題〉

- ・男女ともに、A+Bの割合が全国平均より高く、C+D+Eの割合が全国平均より低くなっていることから、全国よりも体力の総合評価は高いと思われる。
- ・今後も継続的に、体力及び運動への興味・関心を高めるための取組を行っていく。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点～56点 C:37点～46点 D:27点～36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男子は、A+Bの割合が全国平均より低く、D+Eの割合が全国平均より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。
- ・女子は、A+B+Cの割合が全国平均より高く、D、Eの生徒が少ないことから、全国よりも体力の総合評価は高いと思われる。

## 【小学校 運動実施時間】

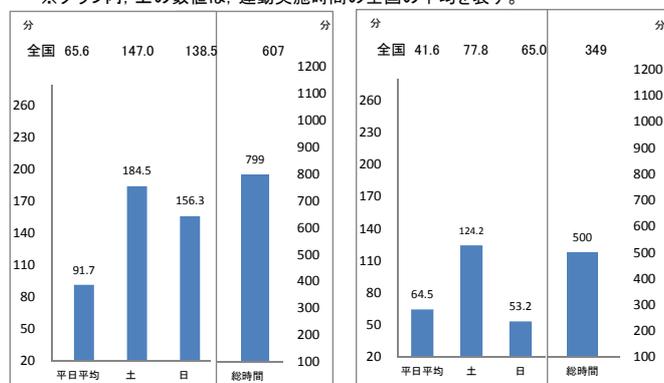
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜～金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・小学校男女ともに、平日、土曜日の運動実施時間については、全国平均より上回っている。
- ・日曜日を全国と比較すると、男子は上回り、女子は下回っている。
- ・1週間の総運動実施時間は、全国と比較すると、男女共に上回っている。

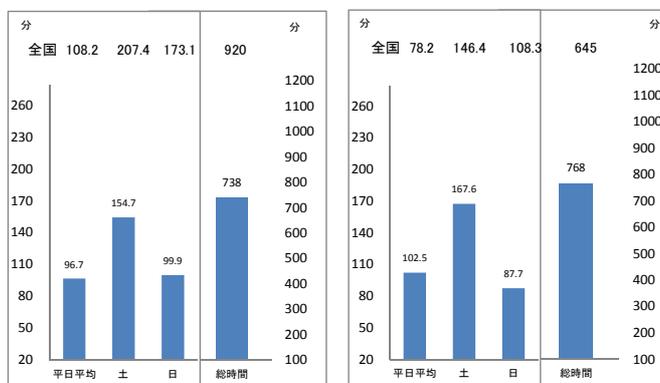
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・平日及び土曜日の運動実施時間については、男子は全国平均を下回り、女子は全国平均を上回っている。
- ・日曜日は、全国平均と比較すると男女ともに下回り、特に男子の差は大きい。
- ・1週間の総運動実施時間は、全国と比較すると男子は下回り、女子は上回っている。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・「チャレンジかごしま」への取組の奨励

### 【中学校】

- ・運動部活動の運営の推進

### 【共通, その他】

- ・体育・保健体育の研修の充実
- ・休日における運動やスポーツを促す資料等を配布し、広報活動を行う。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

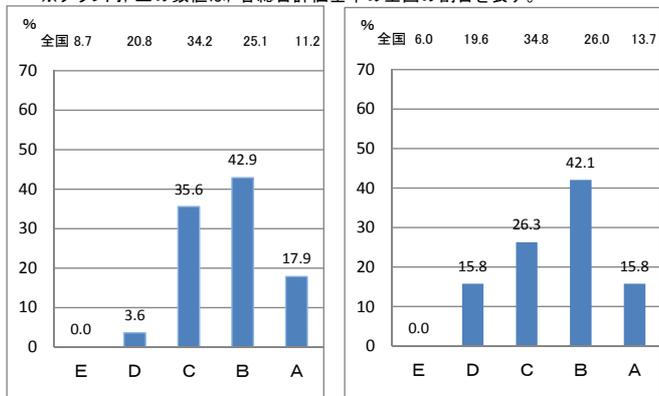
和泊町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

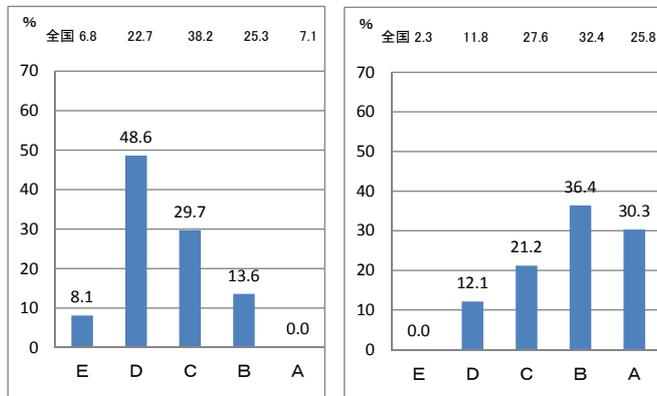
### 〈課題〉

- ・男女ともに、A+Bの割合が全国平均を大きく上回り、D+Eの割合が全国平均より低くなっており、体力・運動能力が身に付いている。
- ・長座体前屈が男女とも全国平均を下回っているため、柔軟性を高める運動に重点的に取り組む必要がある。
- ・各種目に個人差が見られるので、個に応じた指導の更なる充実が求められる。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男子は全国平均に比してA+Bの割合が低く、D+Eの割合が高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。
- ・女子は全国平均に比してA+Bの割合が高くなっており、体力・運動能力が身に付いている。
- ・男子はD+Eの割合が50%を超えており、「D、E」の生徒の体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

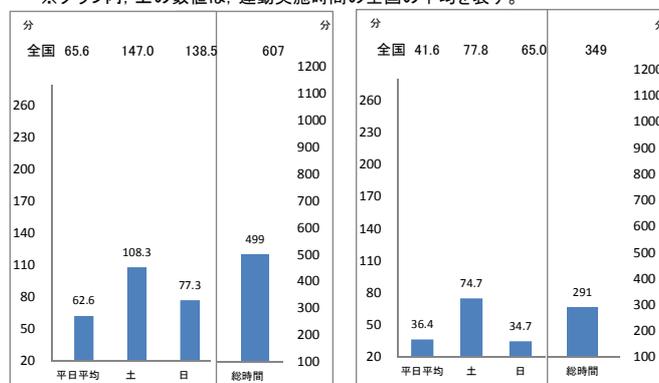
## 【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・小学校男女ともに、平日の運動実施時間については、全国平均とほとんど差がない。
- ・土曜日、日曜日は全国と比較すると男女とも短く、特に日曜日の運動時間の差が大きい。
- ・スポーツ少年団などに所属する児童とそうでない児童との運動時間の差が非常に大きい。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・各学校の特色を生かした「一校一運動」や「チャレンジかごしま」等の取組の充実と家庭への啓発による波及

### 【中学校】

- ・各学校の特色を生かした「一校一運動」の取組の充実と学校体育、部活動が運動した生徒の実態に応じた補強運動の推進

### 【共通、その他】

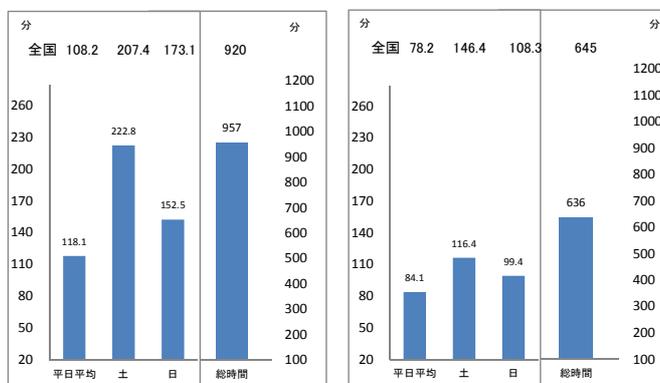
- ・わらんちャクラブ、あぐんちャクラブでの幼少期における運動経験の充実と推進員による研修等の実施
- ・地域の伝統行事や芸能への積極参加の推進と地域ぐるみの社会体育の充実策の推進

## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・男子は全国に比して運動時間が長く、体力の結果とのねじれが生じている。女子は、平日の運動時間が長く、土曜日の時間がやや短い。
- ・男子は部活動等にほぼ所属しており運動時間は確保できているが、バランスのよい体力づくりに留意した取組の改善が必要である。
- ・部活動に所属していない運動時間がほとんど確保できていない生徒への個別の指導が必要である。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

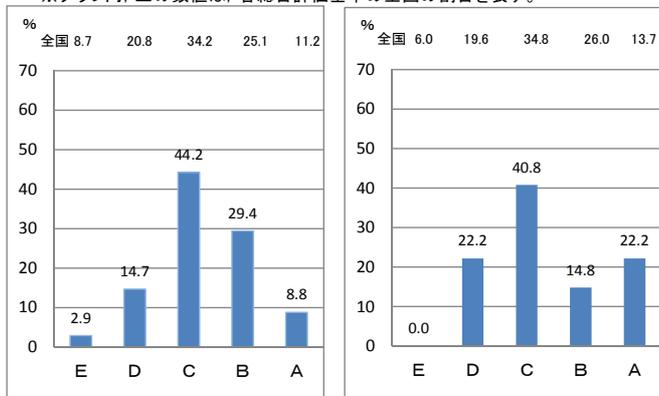
知名町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。  
小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

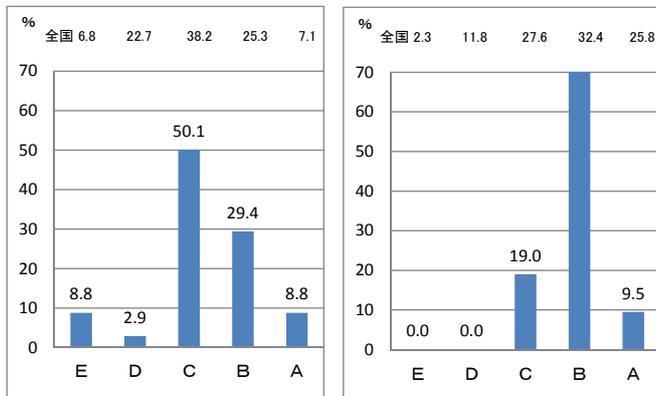
### 〈課題〉

- ・男子では、B・Cの割合が全国平均より高くなっている。中位層を引き上げていく必要がある。
- ・女子は、Aの割合が全国平均より8.5ポイント高いものの、C+Dに63%と偏りがある。中位・下位層を引き上げる取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。  
中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男子は、A+Bの割合が全国平均より高いが、Cが50.1%である。中位層を上位層に引き上げていく必要がある。
- ・女子は、D+Eが0%であり、Bが71.5%である。A+Bは81%であり、運動能力が高い。

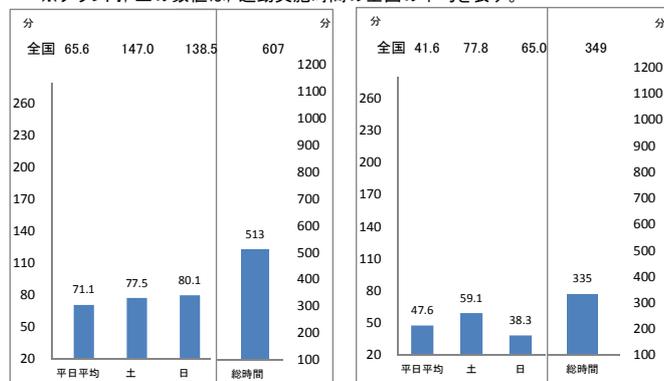
## 【小学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

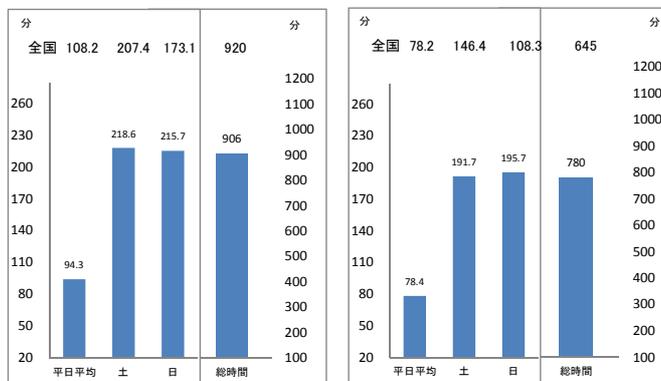
- ・男女ともに、平日の運動実施時間については、全国平均より長く、土曜日、日曜日は全国平均より短い。土曜日・日曜日の運動時間が、全国平均との差が大きいため、総時間においても全国平均より短くなっている。
- ・休日の運動実施時間は、全国平均の半分程度なので、休日に運動する機会を増やしていく必要がある。

## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間) (平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・男子の土曜日、日曜日の運動実施時間は全国平均より長い、平日は14時間ほど短い。
- ・女子の平日は全国平均並みで、土曜日、日曜日も全国平均より長い、総時間では135時間も全国平均より運動実施時間が長い。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・土曜日、日曜日に運動することの奨励や社会体育等の取組を充実させる。

### 【中学校】

- ・運動部活動の運営・指導の工夫改善に関する共通理解を進める。

### 【共通、その他】

- ・PTAや家庭教育学級での運動経験に関する研修等の開催や親子体力づくり等を奨励する。
- ・休日における運動やスポーツの具体的な内容や適切な実施を広報する。

# 平成26年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について (体力総合評価、運動実施時間における課題と対策)

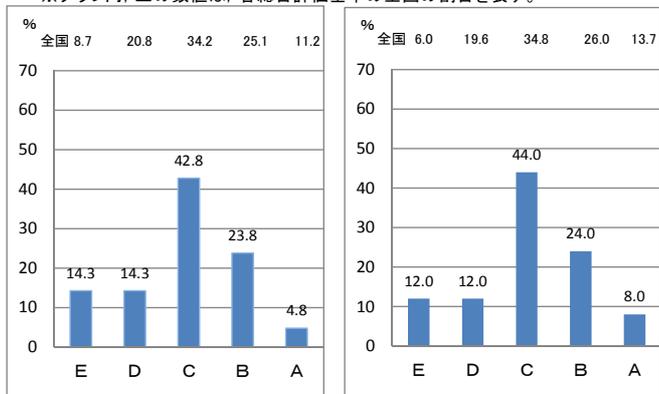
与論町 教育委員会

## 【小学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕

※グラフ内、上の数値は、各総合評価基準の全国の割合を表す。



※ グラフの横軸は、総合評価基準(得点)を示す。

小学校 A:65点以上 B:58点~64点 C:50点~57点 D:42点~49点 E:41点以下

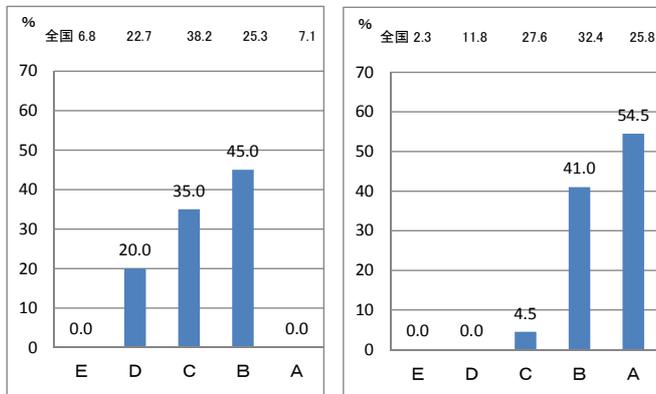
### 〈課題〉

- ・男女ともに、A+Bの割合が全国平均より低く、Eの割合が全国より高くなっており、上位層の引き上げと下位層の底上げが必要である。
- ・男女ともにAの割合が全国平均より低く、Eの割合が全国平均より高い。Eの児童に対する体力及び運動への興味・関心を高めるとともに、中間層の児童の更なる体力向上に向けた取組が必要である。

## 【中学校 体力総合評価】

〔男子〕

〔女子〕



※ グラフの縦軸は、総合評価基準の児童生徒の割合(%)を示す。

中学校 A:57点以上 B:47点~56点 C:37点~46点 D:27点~36点 E:26点以下

### 〈課題〉

- ・男女ともにEの生徒がいない。女子については、A+Bの生徒がほとんどで、高い体力をつけているが、男子については、Aの生徒がいないので、BまたはCの生徒の引き上げが必要である。
- ・全体的に女子に比べ男子の体力向上が必要であることから、男子の体力及び運動への興味・関心を高めるための取組が必要である。

## 【小学校 運動実施時間】

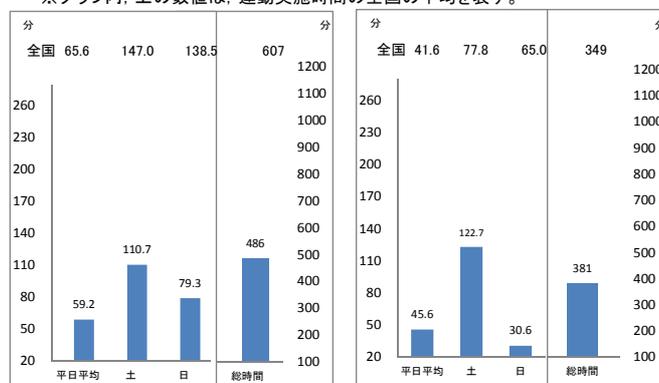
〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)

※グラフ内、上の数値は、運動実施時間の全国の平均を表す。



※ グラフの横軸の平日平均は、月曜~金曜の運動実施時間(分)の平均を示す。

### 〈課題〉

- ・男女ともに、平日の運動時間実施時間については、全国平均とほとんど差がない。
- ・土曜日、日曜日については、男子は、土曜日、日曜日ともに全国平均より短く、特に日曜日の差が大きい。女子は、土曜日は全国平均より長いものの、日曜日は全国平均より短くなっている。

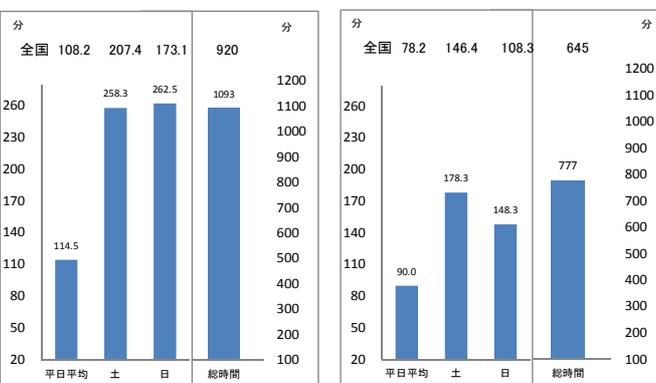
## 【中学校 運動実施時間】

〔男子〕

〔女子〕

(平日の平均及び土日)(1週間)

(平日の平均及び土日)(1週間)



※ グラフの縦軸は、それぞれの運動実施時間(分)を示す。

### 〈課題〉

- ・男女ともに、平日、土曜日、日曜日全てにおいて運動実施時間が全国平均を上回っている。総運動時間は、男女ともに全国平均より120分以上長いので、よく運動を実施していると言える。
- ・平日平均については、全国平均とほとんど差がないが、土曜日、日曜日に運動している時間が全国より長い。

## 【改善策】

### 【小学校】

- ・「チャレンジかごしま」への継続した取組
- ・「外遊びの日」の位置付け

### 【中学校】

- ・運動部活動の運営・指導の工夫改善
- ・運動部活動以外に所属する子供に対する運動への興味・関心を高める取組の充実

### 【共通、その他】

- ・「一家庭一運動」、一シマー運動